

昭和五年十二月末調

231

朝鮮に於ける宗教及享祀一覽

朝鮮總督府學務局宗教課



佛 教

內地佛教

(一)	寺院數	……	一七
(二)	布教所數	……	一八
(三)	布教所累年比較	……	二〇
(四)	布教者數	……	二一
(五)	布教者累年比較	……	二三
(六)	信徒數	……	二四
(七)	宗派別內鮮外人信徒數	……	二六
(八)	道別內鮮外人信徒數	……	二七
(九)	信徒累年比較	……	二八
朝鮮佛教			
(一)	寺刹及僧尼數	……	三一
(二)	本寺別寺刹及僧尼數	……	三一
(三)	僧尼累年比較	……	三三

# 基督教

(八)	(七)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	(一)	(九)	(八)	(七)	(六)	(五)	(四)
	信徒數	布教者累年比較	國籍別宣教師數	宣教師數	布教者數	布教所累年比較	布教所數	信徒累年比較	本寺別信徒數	信徒數	布教所及布教者累年比較	本寺別布教所及布教者數	布教所及布教者數
	五〇	四九	四八	四六	四五	四四	四三	四一	三九	三八	三七	三五	三四
	教派別內鮮外人信徒數												
	五二												

(九) 道別內鮮外人信徒數……………五三

(十) 信徒累年比較……………五四

各教宗信徒百分比……………五六

### 宗教團體社會事業

#### 神道

(一) 學校幼稚園講習所及書堂數……………五九

(二) 道別學校幼稚園講習所及書堂數……………五九

(三) 學校幼稚園講習所書堂教師及生徒數……………六〇

(四) 其ノ他主ナル社會事業……………六〇

#### 佛教

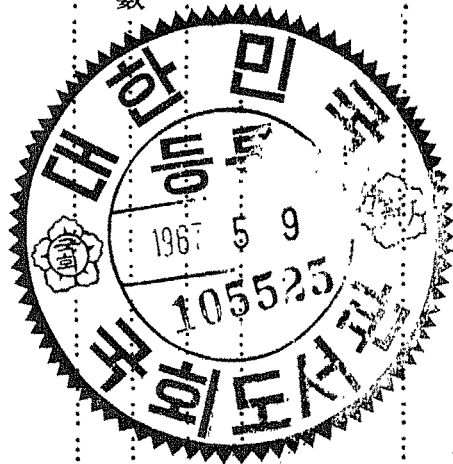
(一) 學校幼稚園講習所及書堂數……………六一

(二) 道別學校幼稚園講習所及書堂數……………六一

(三) 學校幼稚園講習所書堂教師及生徒數……………六二

(四) 諸學校……………六三

(五) 其ノ他主ナル社會事業……………六五



基督教

(一) 學校・幼稚園講習所及書堂數……………六六

(二) 道別學校・幼稚園講習所及書堂數……………六七

(三) 學校・幼稚園講習所書堂教師及生徒數……………六八

(四) 諸學校……………六八

(五) 病院……………七二

(六) 其ノ他主ナル社會事業……………七五

享祀

(一) 殿ノ名稱及所在地……………七七

(二) 陵ノ名稱及所在地……………七七

(三) 歷代殿陵參奉及守護人數……………七八

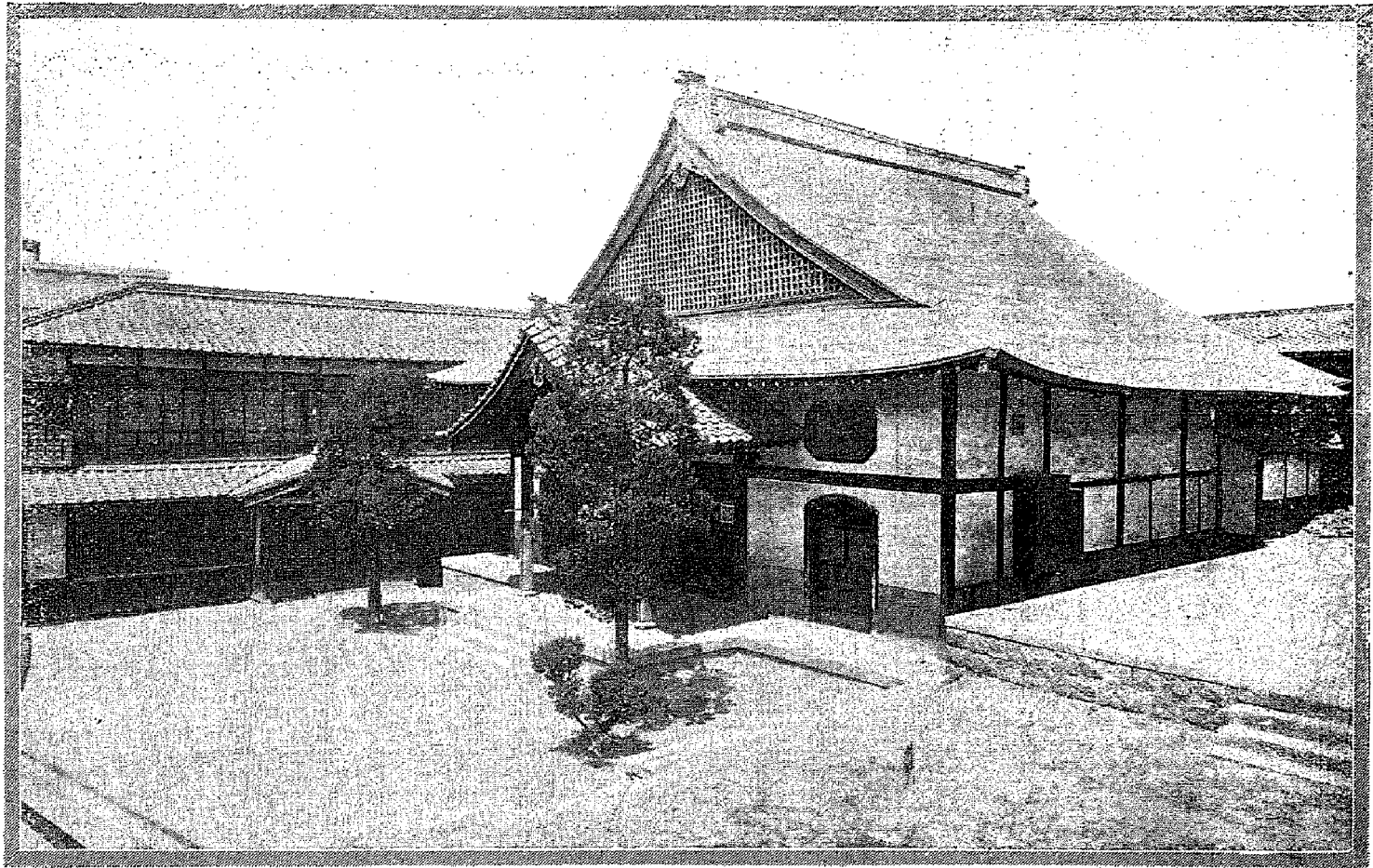
(四) 祠院ノ名稱及所在地……………七八

附錄

寺刹令……………八三

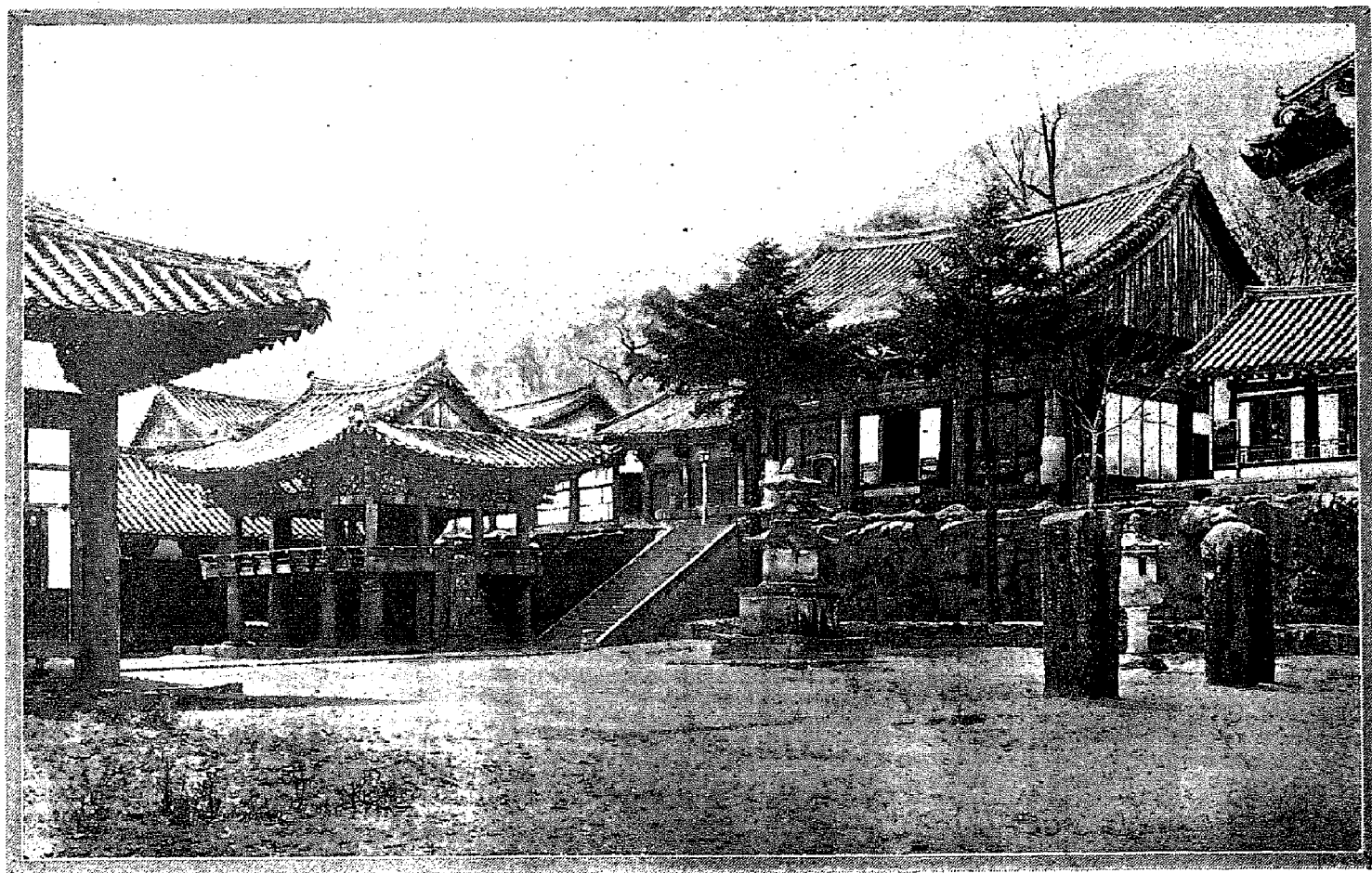
寺刹令施行期日……………八四

寺刹令施行規則	八五
神社寺院規則	九二
布教規則	九八
布教規則ニ依ル布教届等ノ様式	一〇二
享祀釐正ニ關スル件	一〇七

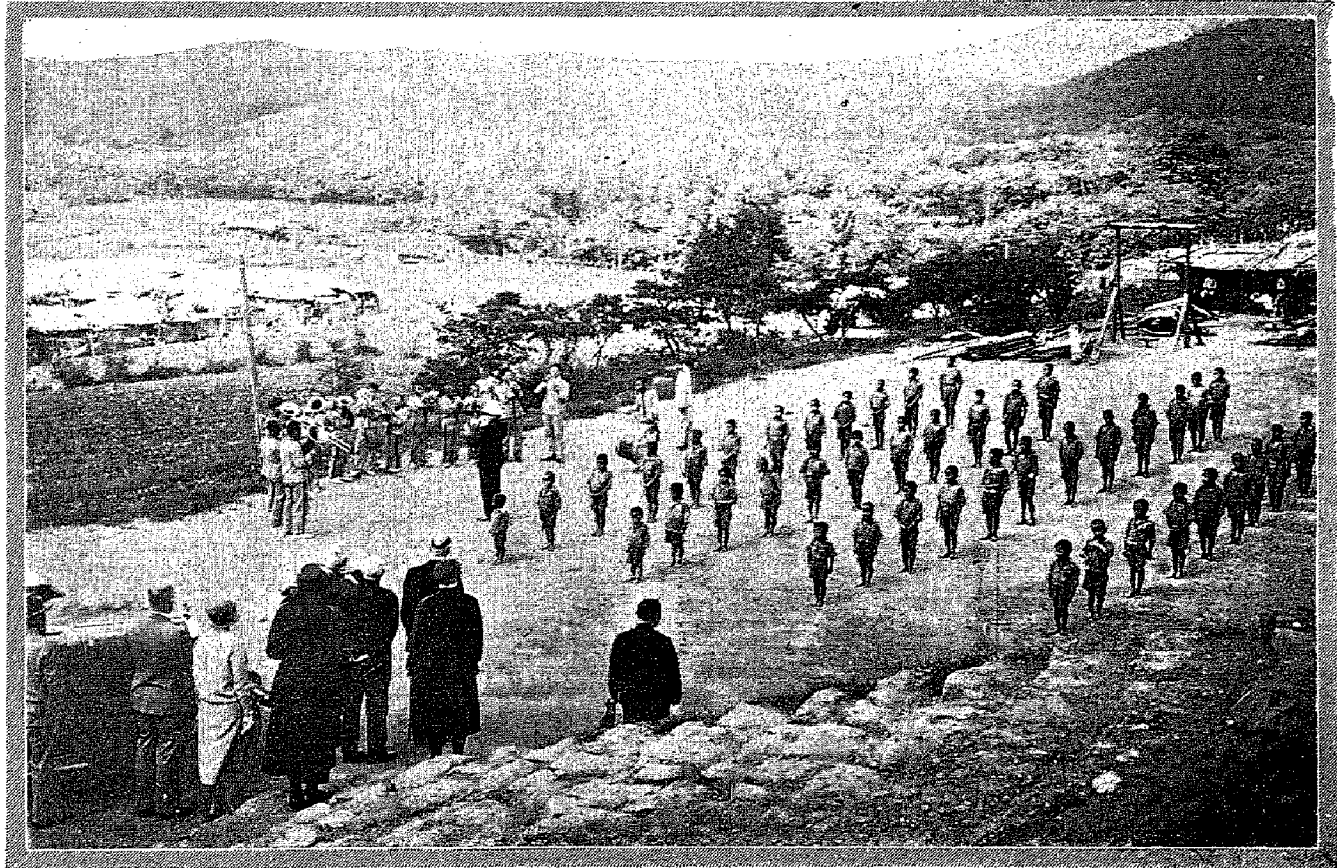


寺 園 護 宗 蓮 日

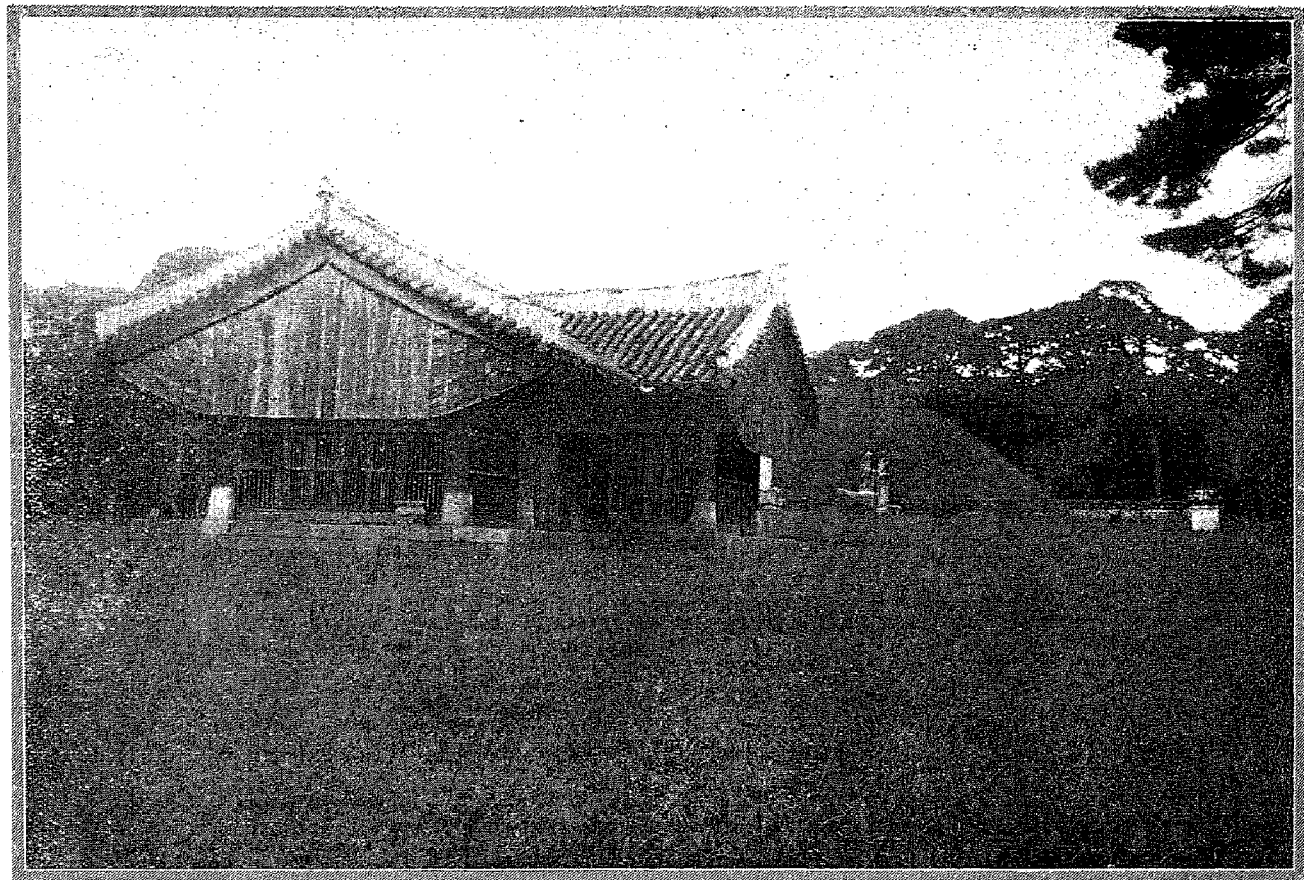




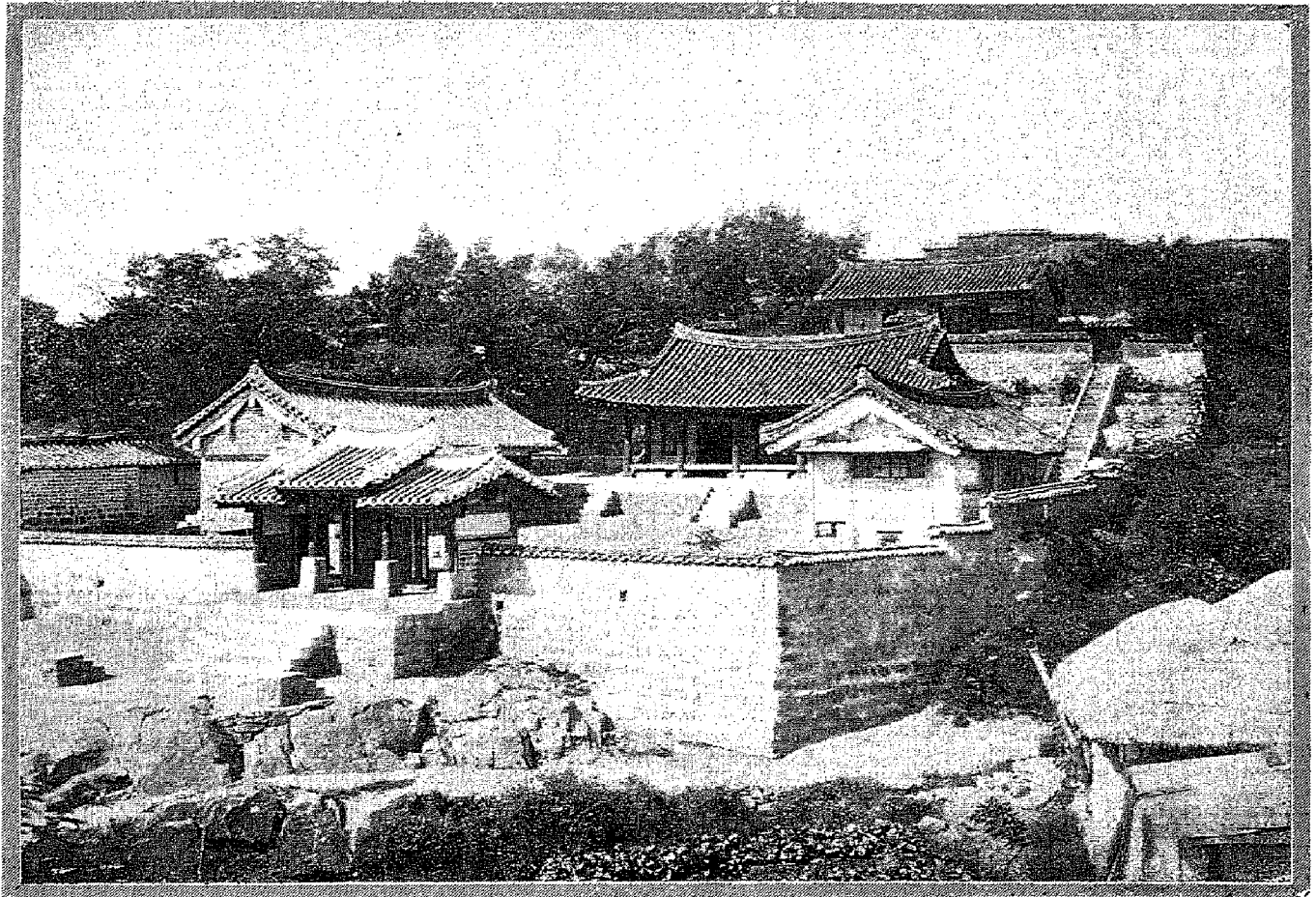
寺 魚 梵 山 井 金



救世軍育兒會



高句麗始祖明東王陵



松陽書院



# 朝鮮に於ける宗教及享祀一覽

朝鮮總督府學務局宗教課

## 一 朝鮮に於ける宗教の概況

朝鮮に於ける多種の信仰團體の内特に法令上宗教と指稱されるものは神道佛道及基督教の三つである。尤も必要ある場合は宗教類似のものに就ても別に指定して宗教に關する規定を準用することになつてゐるが未だ右に依つて公認せられたものは一つもないのである。各宗教の概況は左の通りである。

### (一) 朝鮮佛教

朝鮮佛教は遠く高句麗の小獸林王二年今を距る一千五百五十八年前東晋の秦王符堅が僧順道を遣はして佛像經卷等を傳へたるに始まる。其の後百濟新羅を経て高麗の末期に至るまで歷朝の外護を受けて益々盛大になつたが其の隆昌と共に餘弊亦百出した

爲め李朝に降つては概して佛教排斥の方針を執り寺額を減じ、寺刹(寺院)の土田減獲を官没し、度僧の制限を行ふ等年を追ふて抑壓を加へた。其の結果教勢甚しく衰微し、寺刹は多く荒廢に歸したが明治四十四年九月寺刹令の施行に依つて傳法布教等其の活動を公認せられ、寺刹の財産は其の保有固鞏となり茲に數百年來沈衰したる佛教も漸く蘇生の觀を呈するに至つた。爾來各寺刹は進んで布教所を設置し、各本末寺聯合出資の下に財團法人朝鮮佛教中央教務院を創立する等漸次講學布教の發展に努めつゝある。現在本寺(本山)三十一、末寺一千三百十三、布教所一百十七、僧侶五千六百十四、尼僧一千六、信徒十三萬九千四百餘人を有する。因に朝鮮佛教の宗旨稱號は其の進運に従つて種々竝立したけれども李朝に於て之が合派滅宗を圖り世宗六年遂に禪教の二宗となした。今日に於ては多く兩者を併稱してゐる。

## (二) 内地神道及佛教

内地神道 として最も早く朝鮮の布教に着手したのは天理教である。即ち明治二十六年同教の里見治太郎釜山に於て布教を試みたるを以て其の嚆矢とする。次で同三十二年頃神理教亦釜山に開教し爾來漸次諸教の渡來を見るに至つた。現在天理教神理教金

光教神習教、大社教、扶桑教、神道、黒住教、實行教及御嶽教の十派あり、就中天理教は教義講習所を京城に設置し、内鮮人四五十名の男女を收容して布教に關する教育を施し、着々根底ある傳道計畫を進めつゝある。以上各派を通じて布教所一百九十三、布教者三百五十一、信徒七萬八千七百餘、内朝鮮人一萬一千二百餘人を算する。

内地佛教　の朝鮮に於ける最初の布教は天正十五年、今を距る三百四十三年前で、眞宗大谷派系の僧侶奥村淨信が釜山に來つて之に着手した。其の後文祿役に逢ひ中途廢止の已むなきに至つたが、明治十年同本山は淨信の後裔奥村圓心等を派して再び釜山に開教し、同十四年には日蓮宗の渡邊日蓮亦釜山に日蓮會堂を建て、同二十八年眞宗本願寺派、同三十年淨土宗等相次いで布教師を送り、日韓併合成るに及んで信徒の結集、寺院布教所等の設備年々多きを加へて來た。現在朝鮮の布教に従事する宗派は眞宗、日蓮宗、淨土宗、眞言宗、曹洞宗、臨濟宗、黃檗宗及天台宗に屬する二十派で、寺院一百七、布教所三百七十三、布教者四百九十六、信徒二十六萬三千五百餘、内朝鮮人七千一百餘人である。

### (三) 基督教

基督教の傳播は第十八世紀の中葉、朝鮮より清國に使した者が北京に於て天主教の

聖書を購入して歸つたことに濫觴する。當初本教は京畿道楊平地方を中心として漸次全羅道に及んだが其の教義が朝鮮固有の祖先禮拜の風習に反するものありとして正祖王の八年今を距る百四十六年前政府の嚴禁する所となり教徒は悉く峻刑に遭ひ其の書籍は沒收せられ且つ之が輸入を禁止された。其の後教勢再燃したことがあるけれども未だ其の旺盛を見るに至らなかつた。越えて憲宗王の二年今を距る九十四年前同教のピエル、モーバン先づ入國し、次で該派の宣教師二名も渡來し竊かに京畿道忠清道に亘つて教旨を傳へたが當時尙依然として迫害は止まなかつた。斯くて李太王の十年大院君其の勢力を失墜し政治上の關係を絶つに及んで基督教に對する取締も漸次寛大となり同十九年以後歐米諸國との外交關係成立と共に各居留地内の布教を公認し其の以外の地域に於ても之を默許した爲め茲に天主公教亦其の氣運を恢復し爾來隆盛に向ひつゝある。次に同じく舊教として露國正教會が李太王の光武四年其の傳道を開始し日露戰爭の際一時停止されたが後更に復興した。

新教基督教の宣教は李太王の二十一年米國北長老派のホレーズ、エス、アレンの入鮮を以て其の第一歩とする。續いて翌年は同派のエッチ、ジー、アンダーウッド、美監理派のエッチ、ジー、アツペンゼラー及ダブリユール、ビー、スタラントン等相前後して入國し京城平壤



其の他に布教所を設置し且つ學校病院等の經營に着手した。以來諸派宣教師逐年増加し現在外國人の關係ある教派は朝鮮耶蘇教長老會美監理教會南監理教會聖公會第七日安息日耶蘇再臨教東洋宣教會及救世軍の七派ある。又内地人の新教基督教は明治三十七年日本基督教會傳道局より秋元茂雄を派遣し、同年日本メソヂスト教會日本組合教會も亦渡來した。現在右の外東洋宣教會ホーリネス教會及基督同信會がある。朝鮮人側では大正七元長老派の傳道師金庄鎬が別に黃海道鳳山郡に朝鮮基督教會を組織し尙同十一年日本組合基督教會に於て朝鮮人の布教は之を柳一宣に委任することとし京城に朝鮮會衆基督教會を設立した。以上十六派は各其の宣旨に努め相當の發展を爲しつゝある。現在布教所三千九百十三、布教者二千七百四十七内外國宣教師三百二十一、信徒内地人六千一百餘、朝鮮人三十萬八千餘、外國人二百餘合計三十一萬四千五百餘人である。

#### (四) 宗教團體の社會事業

宗教團體の社會的施設は基督教最も多く、佛教之に亞ぎ、神道亦最近其の教勢の進展に従ひ漸次之が開始を見るに至つた。

神道としては現在天理教の講習所一箇所、内鮮同慶會等がある。

内鮮佛教團體の經營する主なるものを擧ぐれば學校は専門程度一、中等程度四、初等程度八、幼稚園四十五、講習所書堂二十二箇所あり又隣保救濟の事業として眞宗大谷派の向上會館淨土宗の和光教園共生園京城仁川大田光州及平壤に於ける内地佛教各宗聯合の京城佛教慈濟會悲田院大田佛教慈濟會光州佛教慈光會平壤佛教廣濟會等である。

基督教に於ける是等の施設は多く外國宣教師に依つて行はれ新舊各派を通じ學校には専門學校四、高等普通學校三、女子高等普通學校六、普通學校二十九の外中等並初等程度學校一箇所を經營する。又醫療事業には監理及長老聯合の世富蘭德病院外二十四箇所の病院並麗水達城東萊に於ける癩病院あり有料患者を取扱ふと共に貧困者に對し施療を行ひつゝある。其の他天主教の京城仁川大邱に於ける孤兒院、聖公會の聖彼得孤兒院、朝鮮耶蘇教長老會の大同孤兒院、東山病院、嬰兒部、美監理教會の中央育兒院、救世軍の育兒ホーム、女兒ホーム、婦人ホーム等あり近來は又農村の開發に注目する様になつた。

## 二 朝鮮に於ける享祀の概要

殿陵 にして高麗朝以前のものに就ては特に國家の儀制として從來の規格に依り享

祀の典禮を行ふのである。殿とは上古より高麗朝に至る迄の歷朝始祖並特殊の功德ある先王等の靈璽を勸請して追遠報本の誠敬を致す齋場で其の數は八箇所ある。陵は同じく上古より高麗朝に至る迄の歷代王者の遺骸を埋葬せる所謂墳墓で其の所在の明瞭なるもの九十八箇所あるが就中始祖陵六箇所に對しては年々春秋兩次に奠幣供饌の禮を以て享祀を行ふのである。唯駕洛國(任那)の始祖陵に就ては従前から魂殿の享祀の際併合して之を行ひ陵墓祭は格別に之を行はざる慣例であり又百濟王の始祖陵は其の所在が不明であるから素より享祀を行ふことが出来ない。以上の八殿六陵には常時奉仕の爲め參奉各一人を置いて諸般の奉行に遺逸なきを期してゐるが其の候補者は何れも各姓の後裔者中より登用することとしてゐる。又各陵には之が監視を嚴明にし且つ其の尊嚴を保持する爲め放牧耕墾採樵等を禁止する制札を建設すると共に陵の大小と其の距離の遠近等を斟酌して別に守護人を配置してゐる。

祠院 は其の享祀を公認せるもので先人の勳功學徳を追慕し且つ其の徳化を報謝する爲めに之を行ふのである。而して祠宇は其の建設當初から單に享祀を行ふの設備であつたが特に書院は教育制度改革以前に在つては地方に於ける子弟の教育を爲す機關であつた。今は祠宇と同じく唯享祀を行ふのみである。各道を通じて其の員數は四十

四箇所  
ある。

朝鮮に於ける享祀の概要

神

道

(一) 布教所數

昭和五年十二月末現在

總計	御嶽教	實行教	黒住教	神道	扶桑教	大社教	神習教	金光教	神理教	天理教	教派名
11	3	5	4	6	7	1	6	0	3	9	京畿
											忠北
											忠南
											全北
											全南
											慶北
											慶南
											黄海
											平南
											平北
											江原
											咸南
											咸北
											計

(二) 布教所累年比較

各年末現在

天理教	教派名	十六年正	十六一年正	十六二年正	十六三年正	十六四年正	元昭	年和二昭	年和三昭	年利四昭	年利五昭	九年和
吾		10										
五		11										
三		12										
五		13										
六		14										
七		15										
九		16										
九		17										
九		18										
九		19										

大神	神習	金光	神理	天理	教派名
二	二	二	三	三	京畿
一	一	一	一	二	北
一	一	二	一	七	南
二	一	五	一	九	全北
一	一	六	一	四	全南
三	一	六	二	三	慶北
六	一	二	三	〇	慶南
一	一	二	一	四	黃海
一	一	四	三	四	平南
一	一	二	一	六	平北
一	一	一	一	二	江原
三	一	四	一	一〇	咸南
一	一	三	一	三	咸北
一八	二	五七	三四	二九	計

(三) 布教者數

昭和五年十二月末現在

總計	御嶽	實行	黑住	神道	扶桑	大社	神習	金光	神理
九四	一	一	一	一	二	一	三	三	三
一三	一	一	一	一	四	一	三	三	一四
一〇八	一	一	一	一	四	一	三	三	二
二五	一	一	一	一	五	三	三	三	一〇
一五	一	一	一	一	四	二	三	三	一六
一五	一	一	一	一	五	三	三	三	一三
一六	一	一	一	一	六	六	三	四	一三
一七	一	一	一	一	六	一	三	三	二五
一四	一	一	一	一	四	三	二	三	二五
一五	一	一	一	一	四	六	七	一	三〇

實行教	黑住教	神道	扶桑教	大社教	神習教	金光教	神理教	天理教	教派名
				六		亮	一四	九二	十大
				八		四〇	一四	二九	年正
				四		三九	一六	二四五	十大
				一五	三	四	一三	二八三	二年正
		二		一五	二五	四二	一七	三七	十大
	二	二		三	三	四四	一八	一五五	三年正
	四	八		〇	一	四六	三七	三七	十大
一		二	一		四	三六	一三	九一	四年正
	四	六	三	一八	二	五四	五四	一〇七	元昭
	四	六	八	一八	二	五七	三四	二九	年和
三	四	六	八	一八	二	五七	三四	二九	二昭
									年和
									三昭
									年和
									四昭
									年和
									五昭
									年和

(四) 布教者累年比較

總計	御行教	實行教	黑住教	神道	扶桑教
九		三	一	三	二
四					
一〇					
九			一	一	一
三					
三					一
八			二	二	四
三					
三					
九					
二					
七					
一五					
三五一		三	四	六	八

各年末現在





教派名	内地人	朝鮮人	外國人	計
天理教	二七、七二九	一〇、二四九	六	三七、九八四
神理教	七、五九一	七八七	一	八、三七八
金光教	一七、八四二	七一	一	一七、九一三
神習教	二四四	一	一	二四四
大社教	一〇、七四七	二八	一	一〇、七七五
扶桑教	六七二	一	一	六七二
神道	一、二〇三	八五	一	一、二八八
黑住教	九七一	二〇	一	九九一
實行教	二二〇	六	一	二二六
御獄教	二三三	一	一	二四四
總計	六七、四五一	一一、二五八	六	七八、七一五

(七) 道別内鮮外人信徒數

昭和五年十二月末現在

道名	内地人	朝鮮人	外國人	計
京畿道	三〇、二九九	六、〇〇五	二	三六、三〇六
忠清北道	四七六	五二	一	五二八

(八) 信徒累年比較

各年末現在

神 理 教	天 理 教	教 派 名	內 鮮 別 外	
			內 地 人	外 國 人
			十 大 年 正	一 八 四 五
			十 一 年 正	一 五 八 〇
			十 二 年 正	三 二 六 〇
			十 三 年 正	三 四 三 四
			十 四 年 正	三 八 三 五
			元 昭 年 和	三 八 七 〇
			二 昭 年 和	三 八 六 五
			三 昭 年 和	三 八 九 七
			四 昭 年 和	三 九 〇 〇
			五 昭 年 和	三 九 三 七

總 計	咸 鏡 北 道	咸 鏡 南 道	江 原 道	平 安 北 道	平 安 南 道	黃 海 道	慶 尙 南 道	慶 尙 北 道	全 羅 南 道	全 羅 北 道	忠 清 南 道
六 七、四 五 一	一、六〇九	三、九四六	二六	一、五八七	二、四九一	九二一	一四、三三四	二、七八五	二、八九八	三、八六七	二、二二二
一 一、二 五 八	四二	六六六		二八一	三一〇	七八	一、八〇四	一、二八六	四二一	五八	二五五
六				三	一						
七 八、七 一 五	一、六五一	四、六一二	二六	一、八七一	二、八〇二	九九九	一六、一三八	四、〇七一	三、三一九	三、九二五	二、四六七



佛

教

內地  
佛  
教



宗派名	宗興正派		眞本願寺派		大谷派
	佛光寺派	山元派	山元派	眞本願寺派	
京畿	六			三	四
忠北	三			二	一
忠南	三			四	八
全北	八			四	四
全南	四	三		四	八
慶北	三	一	二	七	五
慶南	三			四	七
黃海	二	一		一〇	
平南	七		二	一	四
平北	八			六	二
江原	六			二	四
咸南	六			三	五
咸北	六			三	五
計	三	四	四	三	五

(二) 布教所數

總計	天台宗	黃檗宗	宗濟東福寺派		臨妙心寺派	曹洞宗	宗修醜道派	
			宗計	濟派			醜計	醜派
三			一		一	五	六	
三						二		
五						一		
三						一	一	
一五						三	二	
九			一		一	四	一	
一九						四	三	
一〇			一		一	二	一	
一								
八						二	二	
三						一		
一七			三		三	三	六	

昭和五年十二月末現在





(三) 布教所累年比較

言	眞	淨	宗	蓮	日	宗	眞	宗	派名			
醍醐派	古義眞言宗	新智眞言宗	眞言宗	顯本法華宗	法華宗	日蓮宗	眞言宗	佛光寺派	大谷派			
	宗豐山派	新智眞言宗	眞言宗	顯本法華宗	法華宗	日蓮宗	眞言宗	山元派	本願寺派			
	宗豐山派	眞言宗	眞言宗	眞言宗	眞言宗	眞言宗	眞言宗	眞言宗	眞言宗			
二七	五	一四	三五	二五	四	三	101	三	三	五	四	十六年正
三〇	五	一八	三五	二七	一	五	104	三	三	五	四	十六年正
三〇	五	一八	三三	二二	一	三	101	三	三	五	四	十六年正
三三	五	二二	三三	三三	一	四	102	三	三	五	四	十六年正
三九	七	三三	三九	三九	一	四	100	三	三	七	五	十六年正
三五	五	二二	三三	三三	一	二	104	三	三	五	四	元昭
三九	三	一八	二七	二六	一	二	104	二	四	六	四	二昭
三三	五	二二	三三	三〇	一	六	110	三	三	六	四	三昭
三九	六	二六	三六	三〇	一	七	115	三	四	七	四	四昭
四二	三	二六	三九	三三	一	七	121	四	四	七	五	五昭
四四	三	二六	三九	三三	一	七	121	四	四	七	五	年利

各年未現在

宗 興 正 派 計	佛 光 寺 派	山 元 派	眞 本 願 寺 派	大 谷 派	宗 派 名
五			五	六	京畿
三			二	一	忠北
一〇			二	八	忠南
二			七	五	全北
二	四		一	六	全南
一	一	三	一	一	慶北
四			三	一〇	慶南
九	一		八		黃海
二		一	九	一	平南
六			四	二	平北
三				三	江原
一〇			四	六	咸南
六			三	三	咸北
二二	六	四	一五	二五	計

(四) 布教者數

昭和五年十二月末現在

總 計	天 台 宗	黃 檗 宗	宗 計	濟 東 福 寺 派	臨 妙 心 寺 派	曹 洞 宗	宗 修 醜 驗 嗣 道 派
二四二		一	八	一	七	二	六
二六二		一	八	一	七	三	五
二四九		一	八	一	七	三	六
二〇四		一	八	一	七	四	七
二四四		一	八	一	七	四	八
二六九		一	八	一	七	三	九
二九六		一	三	一	二	三	七
三〇〇		一	二	一〇	二	八	五
三〇八		一	二	二	九	四	九
三二七		二	二	三	九	四	二

總計	天台宗	黃蘗宗	宗計	東福寺派	臨妙心寺派	曹洞宗	宗計	修醜道	醜翻派	言計	古義真言宗	宗豐山派	新義智山派	新義真言宗	淨土宗	宗計	顯本法華宗	蓮本法華宗	日蓮宗
13	2	1	1	1	2	2	2	7	2	7	3	1	4	1	5	1	5	1	9
7					2										2				
3			3	3	9	5	1		4				5	1			1		
2			2	2	4	5			4		1	2	1						1
4					6	10	2					6	2						2
5			3	2	1	5	5		1		3	2	1						1
101	1		1	1	9	2	6		5	3	7	5	8	1	4				3
3			2	2	1	2			1		1	1	6	2					2
2			1	1	4	5	2		3			5	2						1
1					1	4	1		3			1	2						2
6					2	1	1												
10					3	2			1		1		3	2					3
2					3	4	1		3				5	1					1
4					6	10	4		5		3	7	6	6	7		1	2	4

(五) 布教者累年比較

各年末現在

宗派名	十六年正	十七年正	十八年正	十九年正	二十年正	元昭	二年昭	三年昭	四年昭	五年昭
大谷派	105	109	109	104	104	106	111	113	116	114
真本願寺派	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4
山元派	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4
佛光寺派	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4
宗興正派	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	117	121	121	114	114	119	123	123	129	126
日蓮宗	23	20	22	22	22	24	24	23	23	24
法華宗	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1
蓮本法華宗	4	4	6	4	4	4	4	4	4	4
顯本法華宗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	29	26	31	33	33	35	35	34	36	36
淨土宗	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
新義真言	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
新智山派	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
宗豐真言	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
古義真言宗	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
醜副派	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31

(六) 信 徒 數

昭和五年十二月末現在

宗 派 名	宗 興 正 派			眞 本 願 寺 派			宗 派 名
	佛 光 寺 派	山 元 派	大 谷 派	佛 光 寺 派	山 元 派	大 谷 派	
京 畿			八、四一九			八、四一九	京 畿
忠 北			七、二四九		一、四四四	七、二四五	忠 北
忠 南			五、〇六六		二、三三七	二、六七九	忠 南
全 北			八、四四六		五、六二三	二、八四四	全 北
全 南			九、一四七	九、三七	五、九六六	二、六八四	全 南
慶 北			七、二三五	二、六	四、〇五九	一、七二	慶 北
慶 南			一、三三八		一、六五九	五、五九九	慶 南
黃 海			四、〇五二	一、五	四、七二〇	二、〇	黃 海
平 南			六、九三〇		四、四四四	二、二二七	平 南
平 北			三、五九四		一、〇七一	六、九三	平 北
江 原			三、〇七		二、四〇	四、六六	江 原
咸 南			三、四一六		二、三三七	七、七九	咸 南
咸 北			二、七九九		一、七一九	九、九〇	咸 北
計			〇、一、一一〇	一、四四〇	一、〇五〇	二、九、六六	計

總 計	天 台 宗	黃 檗 宗	宗 計	濟 東 福 寺 派	臨 妙 心 寺 派	曹 洞 宗	宗 修 驗 道 派	
							計	道 派
三、四		一	八	一	七	六	五〇	二
三、七八		一	七	一	六	三	六〇	二
三、八六			八	一	七	六	七五	二〇
三、九四	一	一	八	一	七	七	七三	二四
四、四三	一	一	八	一	七	七	八四	三
四、六六	一	一	八	一	七	七	六三	三九
五、二	一		二	一	一〇	九	九九	三四
二、七〇		二	七		七	二	六七	一六
四、五三	二	二	二	二	九	五	九三	四〇
四、六	三	一	三	二	二	六	一〇三	四

總 計	天 台 宗	黃 驪 宗	宗 計		臨 東 福 寺 派	妙 心 寺 派	曹 洞 宗	宗 計		醜 翻 派	醜 翻 派	古 義 真 言 宗	新 豐 山 派	新 智 真 言	新 義 真 言	淨 土 宗	宗 計		顯 本 法 華 宗	蓮 本 門 法 華 宗	日 蓮 宗
			濟 東 福 寺 派	宗 計				宗 計	宗 計												
二八、六七七	八五	八六	一〇、一〇四	四	〇一〇、一〇四	四	四、〇〇九	八、三三八	一、三三七	一、三三七	九四	五、五七七	七〇〇	—	一〇、九三五	一、九八八	—	—	三、七六六	八〇	一五、三三三
三、四一四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一〇、六九八	—	—	一六六	三	一五一	一五	二、七四四	一、二八八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三、八三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一六、六九九	九	—	二六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一七、〇九〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三、七五七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七五三	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一四、八二一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四、九四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一、三五五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七、九二二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九、一八七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二六、五四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(七) 宗派別内鮮外人信徒數

昭和五年十二月末現在

宗派名		内地人	朝鮮人	外國人	計
大谷派	二九、一七〇	四二九	一七	二九、六一六	
真本願寺派	一一三、八四五	二、〇四〇	一九	一一五、九〇四	
山元派	一、三五〇			一、三五〇	
佛光寺派	一、二四〇			一、二四〇	
宗興正派					
計	一四五、六〇五	二、四六九	三六	一四八、一一〇	
日蓮宗	二五、七七五	二八七	一〇	二六、〇七二	
法華宗	八三九	五		八四四	
蓮本門法華宗	四、一六五	三三四		四、四八九	
顯本法華宗	三六一	四		三六五	
計	三一、一四〇	六二〇	一〇	三一、七七〇	
淨土宗	二一、九八四	三、一九二		二五、一七六	
新義山眞言派	七、六二二	四四	五	七、六七〇	
新智眞言派	二、三六〇	三七		二、三九七	
宗眞山眞言派	一一、三八九	一四九		一一、五三八	
古義眞言宗	一、七七三	五七	一〇	一、八四〇	
醍醐派					

(八) 道別内鮮外人信徒數

昭和五年十二月末現在

道名	内地人	朝鮮人	外國人	計
京畿道	一一三、三九二	四、八四九	四六	一一八、二八七
忠清北道	三、四一四	一		三、四一四
忠清南道	九、九六三	七三五		一〇、六九八
全羅北道	一三、八一四	七		一三、八二一
全羅南道	一六、一八四	四八〇	五	一六、六六九
慶尙北道	一六、七五六	三三四		一七、〇九〇

宗派	信徒數
宗醍醐派修驗道計	一、七四五
曹洞宗	二四、八八八
臨妙心寺派	二六、九一九
濟東福寺派	四、七五七
宗計	七八三
黃檗宗	五、五四〇
天台宗	六五
總計	一九一
宗計	二五六、三三二
朝鮮人	七、一五六
外國人	六一
計	二六三、五四九
宗醍醐派修驗道	三四
曹洞宗	三三一
臨妙心寺派	四四一
濟東福寺派	九一
宗計	一
黃檗宗	九二
天台宗	二一
總計	一五
宗醍醐派修驗道	一、七七九
曹洞宗	二五、二二四
臨妙心寺派	二七、三六〇
濟東福寺派	四、八四八
宗計	七八四
黃檗宗	五、六三二
天台宗	八六
總計	一九一



宗派別	眞			
	佛光寺派	山元派	本願寺派	大谷派
朝鮮人	內國人	朝鮮人	內國人	朝鮮人
外國人	內國人	朝鮮人	內國人	朝鮮人
十一年正	二,一三三	一,三六二	二,四三三	二,九一五
十一年正	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
十二年正	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
十三年正	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
十四年正	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
元昭和	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
二昭和	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
三昭和	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
四昭和	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七
五昭和	一,一四一	一,六七六	一,五八八	一,六九七

(九) 信徒數累年比較

宗派別	十一年正	十二年正	十三年正	十四年正	元昭和	二昭和	三昭和	四昭和	五昭和			
總計	二五六,三三二	七,一五六	八三	六二	二六三,五四九	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
咸鏡北道	九,〇九四	八	八	一〇	九,一八七	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
咸鏡南道	七,五七三	八	八	一〇	七,五八一	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
江原道	一,三七三	八	八	一〇	一,三七三	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
平安北道	四,八二八	八	八	一〇	四,八二八	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
平安南道	一三,八六七	八	八	一〇	一三,八六七	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
黃海道	七,五二七	八	八	一〇	七,五二七	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七
慶尚南道	三八,五四七	八	八	一〇	三八,五四七	三八,七四七	七,五五二	一四,一八一	四,九四九	一,三七三	七,五八一	九,一八七

各年末現在





佛

教

朝鮮  
佛教

(一) 寺刹及僧尼數

昭和五年十二月末現在

道名	寺刹數	僧尼	
		僧	尼
京畿道	一七三	九二九	二二九
忠清北道	三五	一一九	五〇
忠清南道	一〇三	三五六	二一八
全羅北道	一一〇	二四八	六〇
全羅南道	一二九	六八五	六四
慶尙北道	一九五	八四六	五二
慶尙南道	一七四	一、二〇一	一〇二
黃海道	四八	一四五	一七
平安南道	四一	四八	一
平安北道	一〇〇	一〇九	九
江原道	一二四	六三八	一〇八
咸鏡南道	七九	二六一	一〇六
咸鏡北道	二三	二九	一
總計	一、三四四	五、六一四	一、〇〇六
			計
			數
			一、二四八
			一六九
			五七四
			三〇八
			七四九
			八九八
			一、三〇三
			一六二
			四九
			一一八
			七四六
			三六七
			二九
			六、六二〇

(二) 本寺別寺刹及僧尼數

昭和五年十二月末現在

奉 龍 奉 傳 法 麻 威 寶 大 白 松 仙 華 桐 銀 狐 金	恩 珠 先 燈 住 谷 鳳 石 興 羊 廣 巖 巖 華 海 雲 龍	寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺	所 在 地	寺 刹 數	僧		尼	計 數
					僧	尼		
京畿道廣州郡彦州面	七五	五〇五	六〇	五六五				
京畿道水原郡安龍面	三六	一四九	六五	二一四				
京畿道楊州郡榛接面	二七	一一〇	一	一一一				
京畿道江華郡吉祥面	三四	一五四	九三	二四七				
忠清北道報恩郡俗離面	三五	一一九	五〇	一六九				
忠清南道公州郡寺谷面	一〇四	三五七	二二八	五七五				
全羅北道全州郡所陽面	五五	一〇八	二二	一三〇				
全羅北道錦山郡南二面	三三	四九	八	五七				
全羅南道海南郡三山面	三三	一一六	一一	一三八				
全羅南道長城郡北下面	五〇	一五七	五四	二一一				
全羅南道順天郡松光面	三四	二四七	六	二五三				
全羅南道順天郡雙岩面	二四	一三七	三	一四〇				
全羅南道求禮郡馬山面	一六	九二	一九	一一一				
慶尙北道蓬城郡公山面	四六	一五五	二	一五七				
慶尙北道永川郡清通面	二八	一一三	一	一一四				
慶尙北道義城郡丹村面	三〇	一二三	一	一二三				
慶尙北道聞慶郡山北面	四五	二四八	六	二五四				

大正十年	年次	僧數	尼數	計
	次			
六二四〇		一、三〇五		
七、五四五				

(三) 僧尼累年比較

總計	歸州寺	釋王寺	月精寺	楡帖寺	乾鳳寺	普賢寺	法興寺	永明寺	成佛寺	貝葉寺	梵魚寺	通度寺	海印寺	祇林寺
	成鏡南道咸興郡北州東面	成鏡南道安邊郡文山面	江原道平昌郡珍富面	江原道高城郡西面	江原道高城郡梧埜面	平安北道寧邊郡北新峴面	平安南道平原郡公德面	平安南道平壤府	黃海道黃州郡州南面	黃海道信川郡用珍面	慶尙南道東萊郡北面	慶尙南道梁山郡下北面	慶尙南道陝川郡御伽面	慶尙北道慶州郡陽北面
一、三四四	七〇	三三	三九	五九	二五	一〇〇	三〇	一一	二三	二五	四三	八五	八一	一五
五、六一四	一一五	一七五	五八	二七八	三〇三	一〇九	三〇	一八	八二	六三	二二八	五八一	五四一	七四
一、〇〇六	二五	八一		一三	九五	九		一	二	一五	二	五三	八八	二
六、六二〇	一四〇	二五六	五八	二九一	三九八	一一八	三〇	一九	八四	七八	二三〇	六三四	六二九	七六

各年未現在

道名	布教所數	布教者數
京畿道	一三	一七
忠清北道	二	二
忠清南道	二	三
全羅北道	一八	八
全羅南道	一七	一一
慶尙北道	二三	二四

(四) 布教所及布教者數

昭和五年十二月末現在

年	布教所數	布教者數
大正十一年	六、〇八一	一、一三四
大正十二年	六、〇二四	一、一九六
大正十三年	五、九四四	一、二〇五
大正十四年	六、一三三	八六九
昭和元年	六、三二四	八六四
昭和二年	六、六七三	九一七
昭和三年	六、一四七	七一六
昭和四年	五、八一七	六三七
昭和五年	五、六一四	一、〇〇六



本寺名	布教所數	布教者數
奉恩寺	三	八
龍珠寺	一	一
奉先寺	一	一
傳燈寺	一	一
法住寺	一	一
麻谷寺	一	三
威鳳寺	七	四

(五) 本寺別布教所及布教者數

昭和五年十二月末現在

總計	慶尚南道	黃海道	平安南道	平安北道	江原道	咸鏡南道	咸鏡北道
一一七	一一	一	二	三	四	六	七
一一二	一一	一	二	三	四	六	七

---

乾 善 法 永 成 貝 梵 通 海 祇 金 孤 銀 桐 華 仙 松 白 大 寶  
 鳳 賢 興 明 佛 藥 魚 度 印 林 龍 雲 海 華 嚴 嚴 廣 羊 興 石  
 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺 寺

---

三 四 | | | 一 九 <sup>一</sup>〇 <sup>一</sup>〇 三 四 四 五 三 二 二 一 五 七 二

---

三 六 一 | | | 一 六 <sup>一</sup>四 <sup>二</sup>三 三 二 七 三 二 二 一 二 七 一

年次	布教所數	布教者數
大正十年	四八	六三
大正十一年	五六	七〇
大正十二年	六一	一五二
大正十三年	七一	七二
大正十四年	六二	七六
昭和元年	八二	一一三
昭和二年	八二	六三
昭和三年	九五	九七

總計	朝鮮佛教中央教務院	釜魚海寺	銀州寺	歸王寺	釋精寺	月精寺	楡岾寺
一一七	一	一	三	四	三	二	
一一二	一	一	一	五	六	五	

(六) 布教所及布教者累年比較

各年末現在

昭 和 五 年	昭 和 四 年
一 二 七	一 〇 四
一 二 三	一 〇 四

(七) 信 徒 數

昭和五年十二月末現在

道 名	內 地 人	朝 鮮 人	外 國 人	計
京 畿 道	1		1	八、三六九
忠 清 北 道	1		1	二、六九二
忠 清 南 道	1		1	三、六九九
全 羅 北 道	1		1	六、二三三
全 羅 南 道	一九		1	一〇、八三八
慶 尙 北 道	四〇		二	四一、六二六
慶 尙 南 道	1		1	四四、二六八
黃 海 道	1		1	一、四二一
平 安 南 道	1		1	四、六五四
平 安 北 道	一一		1	一〇、三三三
江 原 道	1		1	七四六
咸 鏡 南 道	1		1	八、四七〇
咸 鏡 北 道	1		1	五、四三〇

總計	七〇	一三九、四〇六	二	一三九、四七八
----	----	---------	---	---------

(八) 本寺別信徒數

昭和五年十二月末現在

本寺名	內地人	朝鮮人	外國人	計
奉恩寺		四、六二九		四、六二九
龍珠寺		八八七		八八七
奉先寺		一、七六三		一、七六三
傳燈寺		六二〇		六二〇
法住寺		二、六九二		二、六九二
麻谷寺		三、六九九		三、六九九
威鳳寺		四、九三四		四、九三四
寶石寺		六二七		六二七
大興寺	一九	四、一五二		四、一七一
白羊寺		一、四七九		一、四七九
松廣寺		一、五〇一		一、五〇一
仙巖寺		二、六一八		二、六一八
華嚴寺		一、六七〇		一、六七〇
桐華寺		一〇、一六七		一〇、一六七

總計	朝鮮佛教中央教務院	歸州寺	釋王精寺	月精寺	楡岾寺	乾鳳寺	普賢寺	法興寺	永明寺	成佛寺	貝葉寺	梵魚寺	通度寺	海印寺	祇林寺	金龍寺	孤雲寺	銀海寺	
七〇							一一							二九				一一	
一三九、四〇六	二八〇	一〇、四七三	三、四二七	六五	三、八二八	五五三	一、〇二二	八八八	三一六	七九〇	六三一	二四、七四〇	一〇、〇六四	二二、一五四	三、五六九	五、六五〇	四、四二一	五、〇九七	
二																		二	
一三九、四七八	二八〇	一〇、四七三	三、四二七	六五	三、八二八	五五三	一、〇三三	八八八	三一六	七九〇	六三一	二四、七四〇	一〇、〇六四	二二、一八三	三、五六九	五、六五〇	四、四三四	五、〇九七	

(九) 信徒累年比較

各年末現在

年次	内地人	朝鮮人	外國人	計
大正十年	一一八	一六三、六三一		一六三、七四九
大正十一年	六六四	一六二、八九二		一六三、五五六
大正十二年	七七八	一六九、八二七		一七〇、五四五
大正十三年	一四七	二〇三、三八六		二〇三、五三三
大正十四年	二二六	一九七、九五二		一九八、一七七
昭和元年	一四一	一七〇、二一三		一七〇、三五四
昭和二年	一六一	一八九、六七〇		一八九、八三一
昭和三年	七三	一六六、三〇一		一六六、三七四
昭和四年	一三九	一六九、〇一二		一六九、一五一
昭和五年	七〇	一三九、四〇六	二	一三九、四七八

基  
督  
教



(一) 布教所數

昭和五年十二月末現在

教派名	京畿	北	南	全北	全南	慶北	慶南	黃海	平南	平北	江原	咸南	咸北	計
天主教會	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
韓國正教會	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
計	22	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
朝鮮耶蘇教會	103	4	3	17	20	43	30	27	26	33	6	20	9	197
長老教會	17	7	3	1	1	1	1	7	7	10	6	6	5	77
美監理教會	93	1	1	1	1	1	1	5	1	2	1	1	1	107
南監理教會	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
聖公會	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
第七日安息日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
耶蘇再臨教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
東洋宣教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
救世軍	14	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	101
計	237	10	10	23	23	50	36	48	40	50	14	26	16	356
日本基督教會	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
日本メソヂスト	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
日本基督會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
基督教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
基督教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
東洋宣教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
ホーリネス教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
基督教會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	111







教派名	京畿	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	黄海	平南	平北	江原	咸南	咸北	計
天主教會	一四	三	五	四	一	七	三	一	六	五	二	五	一	六
露國正教會	一	三	五	四	一	七	三	一	六	五	二	五	一	六
計	一五	三	五	四	一	七	三	一	六	五	二	五	一	六
朝鮮耶蘇教會	三三	四	五	一四	一七	八	二二	五	三三	一五	二	九	一〇	三六
長老耶蘇教會	三三	四	五	一四	一七	八	二二	五	三三	一五	二	九	一〇	三六
美監理教會	三〇	一	三	一	一	一	一	四	七	一	二	一	一	三
南監理教會	三六	一	一	一	一	一	一	一	七	一	二	一	一	三
聖公會	二四	五	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	三
第七日安息日	五	一	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	三
耶穌再臨教會	二	一	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	三
東洋宣教會	二	一	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	三
救世軍	二	一	一	一	一	一	一	一	六	一	五	一	一	三
計	八九	一〇	二六	二五	一七	二四	二四	一〇	二五	二五	一七	二四	一〇	一三
日本基督教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
日本メソヂスト教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教日本組合	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
日本基督教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東洋宣教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ホーリネス教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
基督教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

救派名	英	米	佛	獨	奧	露	丁	瑞	計
天主教	二	八							六五
露國正教會						一			一
朝鮮老耶蘇教會		八							六六
長老耶蘇教會		五							二八
美監理教會		四							三七
南監理教會		三							三六
聖公會		一							二三
第七日安息日									一四
耶穌再臨教會		二							一七
東洋宣教會		二							一七
救世軍		六							二五
計	八〇	一六六		二			一	六	二五五

(五) 國籍別宣教師數

總計	朝鮮基督教會	朝鮮基督教會	朝鮮基督教會
一〇四			
一三			
二			
元			
七			
二〇			
三七			
二			
四			
三〇			
九			
元			
一〇			
三三			

昭和五年十二月末現在

總計	基督教會	朝鮮基督教會	朝鮮基督教會	基督教會	日本メソヂスト	日本基督教會
九二						
一七四						
四〇						
六						
一						
一						
一						
六						
三二一						

(六) 布教者累年比較

各年末現在

教派名	十六年正	十六一年正	十六二年正	十六三年正	十六四年正	元昭和	二昭和	三昭和	四昭和	五昭和
天主教	六	六	一四	一〇	二〇	二七	二九	一四〇	一四一	一三一
露國正教會	五	五	四	三	四	四	五	五	五	五
朝鮮計	八	九	二八	一〇	二七	三三	三〇	一五	一三	一三
長老耶蘇教會	一、三三	一、五六	一、四八	一、四二	七四	一、四	一、九	一、四三	一、四八	一、四四
美監理教會	六〇	六八	四三	五三	五三	五五	六四	六七	六三	五七





教派名	京畿	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	黄海	平南	平北	江原	咸南	咸北	計
天主教	三,000	二,600	三,600	七,600	一,200	九,500	五,500	四,500	四,500	一,500	五,500	一,500	七,500	五,500
露國正教會	七,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七,000
計	三,700	二,600	三,600	七,600	一,200	九,500	五,500	四,500	四,500	一,500	五,500	一,500	七,500	一〇,000
朝鮮老蘇教會	六,000	二,600	三,600	七,600	一,200	九,500	五,500	四,500	四,500	一,500	五,500	一,500	七,500	一〇,000
美監理教會	一,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一,500
南監理教會	四,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四,500
聖公會	三,000	一,500	七,000	五,000	五,000	五,000	六,000	五,000	四,000	—	—	—	—	三,000
第七天安息日	三,000	七,000	一,000	一,000	一,000	一,000	一,000	一,000	一,000	—	—	—	—	三,000
耶穌再臨教會	一,000	九,000	四,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一,000
東洋宣教會	八,000	三,000	三,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八,000
救世軍	一,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一,000
計	一七,900	五,600	六,400	一六,300	三,300	一九,500	一三,400	一五,000	一四,500	一,500	一五,000	一,500	一七,000	二四,000
日本基督教會	六,000	—	—	五,000	一,700	—	—	—	—	—	—	—	—	六,000
日本メソヂスト	四,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四,000
日本組合	八,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八,000
基督教會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東洋宣教會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ホーリネス教會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基督教會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一八,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八,000
朝鮮基督教會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一八,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一八,000

總計	朝鮮教會會衆	基督教會
三、〇四六	三、〇四六	三、〇四六
三、八四〇	三、八四〇	三、八四〇
三、八四〇	三、八四〇	三、八四〇
一、〇、四〇〇	一、〇、四〇〇	一、〇、四〇〇
二、四、七七八	二、四、七七八	二、四、七七八
二、五、七五元、五五五	二、五、七五元、五五五	二、五、七五元、五五五
一、九、〇〇〇	一、九、〇〇〇	一、九、〇〇〇
三、〇、三三三	三、〇、三三三	三、〇、三三三
四、〇、三六三	四、〇、三六三	四、〇、三六三
五、〇、六〇〇	五、〇、六〇〇	五、〇、六〇〇
一、三、〇〇〇	一、三、〇〇〇	一、三、〇〇〇
二、二、三三三	二、二、三三三	二、二、三三三
七、七三三	七、七三三	七、七三三
三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三
三、三三三、三三三	三、三三三、三三三	三、三三三、三三三

(八) 教派別內鮮外人信徒數

昭和五年十二月末現在

教派名	內地人	朝鮮人	外人	計
天主教	九二二	五八、五一一	五九	五九、四九一
露國正教會	九二二	七四四	二二	七六六
朝鮮耶蘇教長老會	二四〇	五九、二五五	八一	六〇、二五七
美監理教會	二	一七四、八三二	六三	一七五、一三五
南監理教會	二	三三、一七五	六二	三三、二三九
聖公會	三六八	一三、三一七	一七	一三、三三四
第七日安息日	三六八	七、〇五一	二二	七、四三一
耶穌再臨教會	三六八	三、五三六	二〇	三、五五六
東洋宣教會	三六八	四、二六七	三	四、二六七
救世軍	五九七	六、七二九	三七	七、三六三
計	一一、二〇七	二四二、九〇七	二一一	二四四、三二五
日本基督教會	一、九一六	一九	一	一、九三五

(九) 道別内鮮外人信徒數

昭和五年十二月末現在

道名	内地人	朝鮮人	外人	計
京畿道	二、六八七	四四、〇〇〇	一八一	四六、八六八
忠清北道		八、五六八		八、五六八
忠清南道	三二二	一〇、三七四		一〇、四〇六
全羅北道	九四三	二二、七七五		二四、七一八
全羅南道	三九六	一四、七七七		一五、一七三
慶尙北道	三九九	二九、一二三	三二	二九、五五四

宗派	總計	内地人	朝鮮人	外人	計
日本メソヂスト教會	一、〇三九		一五四		一、一九三
日本組合基督教會	九七五		五	二	九八二
東洋宣教會	一〇二		一、二四六		一、二四八
ホーリネス教會			六六		六六
基督教同信會	計		六六		六六
朝鮮基督教會	四、〇三二		一、三九〇	二	五、四二四
朝鮮會衆基督教會			八五〇		八五〇
朝鮮會衆基督教會			三、六七八		三、六七八
朝鮮會衆基督教會			四、五二八		四、五二八
總計	六、一六〇	三〇八、〇八〇	二九四		三一四、五三四

教派名	教		派		名	
	內	外	內	外	內	外
天主教	內	外	內	外	內	外
	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人
天正公會	內	外	內	外	內	外
	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人
歸正教會	內	外	內	外	內	外
	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人
計	內	外	內	外	內	外
	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人
朝鮮耶蘇長老會	內	外	內	外	內	外
	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人	朝鮮人	國人
十年正	一八、〇〇三	九、九二二	一八、〇〇三	九、九二二	一八、〇〇三	九、九二二
十一年正	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
十二年正	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
十三年正	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
十四年正	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
元昭和	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
二昭和	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
三昭和	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
四昭和	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇
五昭和	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇	一九、〇三三	一〇、〇〇〇

(十) 信徒累年比較

總計	咸鏡北道	咸鏡南道	江原道	平安北道	平安南道	黃海道	慶尙南道
六、一六〇	一二六	一一五	一七九	三二一	八六	八七六	一八、一五七
三〇八、〇八〇	七、五六九	一一、一五五	一三、〇三六	五〇、五九九	四四、〇二八	三二、九一九	一九、〇三三
二九四	七	一二	二二	三三	七	七	三三、〇一二
三一四、五三四	七、七〇二	一一、二八二	一三、〇三六	五〇、八〇〇	四四、三八二	三三、〇一二	一九、〇三三

各年末現在

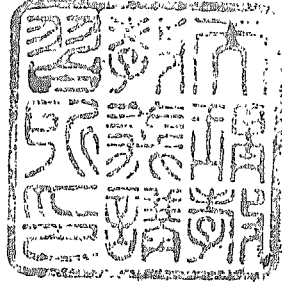


### 各教宗信徒百分比

昭和五年十二月末現在

道名	人口	神道		内地佛教		朝鮮佛教		基督敎		計
		信徒數	百分比	信徒數	百分比	信徒數	百分比	信徒數	百分比	
東洋宣敎會	内地人							1,068	1.1%	1,068
	朝鮮人							1,068	1.1%	1,068
ホリネス敎會	内地人							1,068	1.1%	1,068
	朝鮮人							1,068	1.1%	1,068
基督同信會	内地人							30	0.03%	30
	朝鮮人							30	0.03%	30
計	内地人							1,128	1.2%	1,128
	朝鮮人							30	0.03%	30
朝鮮基督敎會	内地人							4,615	5.1%	4,615
	朝鮮人							4,615	5.1%	4,615
朝鮮會衆基督敎會	内地人							3,726	4.1%	3,726
	朝鮮人							3,726	4.1%	3,726
計	内地人							8,341	9.2%	8,341
	朝鮮人							8,341	9.2%	8,341
合計	内地人							9,469	10.5%	9,469
	朝鮮人							9,469	10.5%	9,469
總計	内地人							9,469	10.5%	9,469
	朝鮮人							9,469	10.5%	9,469

忠清北道	八七五,七〇八	五九六	〇・〇六	三,四四四	〇・九六	二,六九三	〇・三二	八,五六八	〇・九八	一,五〇三	一・七四
忠清南道	一,五三三,〇二二	二,四七七	〇・一八	一〇一,六九八	〇・七九	三,六九九	〇・七五	一〇,四〇六	〇・七五	二七,五七〇	二・一〇
全羅北道	一,四五六,九四六	三,九三三	〇・七五	一三,八三三	〇・九三	六,三三三	〇・四三	二四,七八八	一・七〇	四八,六九七	三・三〇
全羅南道	二,三三九,五五九	三,三三九	〇・一五	一六,六六九	〇・七四	一〇,八七七	〇・四八	一五,七七三	〇・六八	四四,九九八	二・〇五
慶尙北道	二,三三三,五七七	四,〇〇二	〇・一七	一七,〇〇〇	〇・七三	四,六二六	一・七六	二九,五五〇	一・二七	九二,三四二	三・九六
慶尙南道	二,〇五九,七〇五	一六,三三六	〇・七六	三,六四七	一・八八	四,三六八	二・二五	一九,〇三三	〇・九三	二八,八八六	五・七四
黃海道	一,五九一,六二〇	九九九	〇・〇七	七,五三三	〇・五二	一,四三三	〇・一〇	三三,一〇三	三・三三	四二,九九四	二・八九
平安南道	一,二九八,一八〇	二,〇三三	〇・一三	一四,八二一	一・〇九	四,六四四	〇・三六	四四,三二二	三・四三	六八,一〇九	五・〇九
平安北道	一,五九六,七九六	一,八七五	〇・一三	四,九四九	〇・三三	一,〇三〇	〇・七五	五,八二〇	三・三三	五八,五三三	三・九三
江原道	一,四二一,一七四	三	〇・〇〇	一,三三三	〇・一〇	七,四六六	〇・〇五	三,〇〇六	〇・九二	一五,一八一	一・〇八
咸鏡南道	一,四四四,九二〇	四,三三三	〇・三三	七,五九二	〇・五二	八,四七〇	〇・三九	一一,六三三	〇・六六	三三,九四五	二・一五
咸鏡北道	七五九,九二六	一,三三三	〇・一三	九,一八七	一・二六	五,四三〇	〇・七六	七,七三三	一・〇八	二二,九九〇	三・三三
總計	二〇,一五九,五三三	六八,七五五	〇・九六	二四,五四九	一・三〇	二九,四七六	〇・六九	三三,四五四	一・五五	七九六,二七六	三・九三



宗教團體社會事業





總計	講習所・書堂	幼稚園	初等				普通學校				
			依ルモノノ 私立學校規則ニ 依ルモノ		依ルモノノ 普通學校規則ニ 依ルモノ		依ルモノノ 普通學校規則ニ 依ルモノ		依ルモノノ 普通學校規則ニ 依ルモノ		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(三) 學校・幼稚園・講習所・書堂教師及生徒數

昭和五年十二月末現在

天理教	總計	學校數	教師數			生徒數			一箇年經費	
			内地人	朝鮮人	外國人	男	女	計		
	一	一	五	五	一			五	五	二、六〇〇 <small>円</small>
	一	一	五	五	一			五	五	二、六〇〇 <small>円</small>

(四) 其ノ他主ナル社會事業

昭和五年十二月末現在

天理教	教派名	名稱	所在地	事業目的	一箇年收容又ハ取扱人員	一箇年經費
	内鮮同慶會	大邱府鳳山町	内鮮融和・教化授産貧民救済	二、四〇〇 <small>人</small>	九、五〇〇 <small>円</small>	

# 佛教

## (一) 學校・幼稚園・講習所及書堂數

昭和五年十二月末現在

教派名	專門程度		中等程度		初等程度		幼稚園	講習所 書堂	計
	規程ニ依ルモノ	規程ニ依ルモノ	規程ニ依ルモノ	規程ニ依ルモノ	規程ニ依ルモノ	規程ニ依ルモノ			
眞宗大谷派									
眞宗本願寺派							一	一	一
日蓮宗								一	一
淨土宗									
新眞言宗 智眞言宗									
古眞言宗									
曹洞宗									
朝鮮佛教									
總計							五	三	八

## (二) 道別學校・幼稚園・講習所及書堂數

昭和五年十二月末現在

眞宗大谷派	宗派名	學校數		教師數		生徒數		一箇年經費
	學校數	內地人	朝鮮人	外國人	計	男	女	
九		三	七	一	六	四一五	三三九	六五四
								一五、三三〇

(三) 學校・幼稚園・講習所・書堂教師及生徒數

昭和五年十二月末現在

總計	講習所書堂	幼稚園	初等程度		中等程度		專門程度		區分
			私立 依ルモノ	普通 依ルモノ	私立 依ルモノ	實業 依ルモノ	高等 依ルモノ	私立 依ルモノ	
一九	六	六	三						京畿
									忠北
									忠南
									全北
									全南
									慶北
									慶南
									黃海
									平南
									平北
									江原
									咸南
									咸北
									計
八	三	三	六	二	一	一	一	一	

總計	朝鮮佛教	曹洞宗	古義眞言宗	新義眞言宗智山派	淨土宗	日蓮宗	眞宗本願寺派
合	三	五	二	一	五	一	七
計	一〇	三	六	三	六	二	四
計	三七	三三	九	一	二〇	二	一
	一四	九	三	一	三	一	一
	二	一	一	一	二	一	一
	二六	三三	三	三	一八	四	四
	四一	一〇	二	一	一〇〇	九〇	一六
	二	六	二	〇	六	三	六
	六	三	四	一	一八	一三	一〇
	一〇	六	一	一	四	一	一
	一九	九	一	一	四	一	一

(四) 諸 學 校

昭和五年十二月末現在

宗派名	學 校 名	所 在 地	創 立 年 月	教 師 數	生 徒 數	一 箇 年 經 費
朝鮮佛教中央教務院	中央佛教專門學校	京城府崇二洞	昭和五年四月	三七	三	三、一〇、五〇〇
合 計	一			三七	三	三、一〇、五〇〇

高等普通學校

朝鮮佛教中央教務院	合計	普成高等普通學校	京城府惠化洞	大正六年七月	二	七五	四,000
	合計	—	—	—	二	七五	四,000

高等女學校

眞宗本願寺派	合計	龍谷高等女學校	京城府若草町	大正十五年四月	二	二四四	三,600
		—	—	—	二	二四四	三,600
合計	合計	—	—	—	二	二四四	三,600

實業學校

淨土宗	合計	開城學堂商業學校	開城府南山町	大正九年四月	七	一四〇	三,000
		—	—	—	七	一四〇	三,000
合計	合計	—	—	—	七	一四〇	三,000

普通學校

朝鮮佛教	明正普通學校	慶尙南道東萊郡北面	慶尙南道梁山郡下北面	大正十五年十二月	昭和三年四月	五	三〇五	五,700
						三	一六五	三,000
合計	合計	合計	合計	合計	合計	八	四七〇	八,700

總 合 計	計 計	六 二 二	七 九 八	一、五九〇	一〇六、五二三
			八	三六八	七、五九四
			八	三六八	七、五九四
			七 九	一、五九〇	一〇六、五二三

(五) 其ノ他主ナル社會事業

昭和五年十二月末現在

宗 派 名	名 稱	所 在 地	事 業 目 的	一箇年收容 又ハ取扱人員	一箇年經費
眞宗大谷派	向上會館	京城府天然洞	教育・授産・思想善導	一、五七七人	九、四四〇円
淨土宗	和光教園	京城府觀水洞	授産・勞働者宿泊・職業紹介	三、三四九	三、七六
同	共生園	釜山府水晶町	托兒・教育・授産・施療・職業紹介・實費診療	二、七五五	九、二二
京城内地佛敎聯合會	京城佛敎慈濟會	京城府元町一丁目	行旅病人救護・實費診療・養老保護	三、六七	二、四九〇
仁川内地佛敎聯合會	悲田院	仁川府外里	行旅病人救護	三二	二、六〇〇
大田内地佛敎聯合會	大田佛敎慈濟會	忠清南道大田郡大田面	同	六	一、六三五
光州内地佛敎聯合會	光州佛敎慈光會	全羅南道光州郡光州面	行旅病人及浮浪者救護	五四	一、七六六
平壤内地佛敎聯合會	平壤佛敎廣濟會	平壤府南山町	行旅病人救護	一三三	三、八四

# 基督教

## (一) 學校・幼稚園・講習所及書堂數

昭和五年十二月末現在

教派名	專門程度				中等程度			初等程度		幼稚園	講習所	計
	專門學校 ルモノ	私立學校 ルモノ	高等普通學 ルモノ	女子高等普 ルモノ	實業學校 ルモノ	私立學校 ルモノ	普通學校 ルモノ	私立學校 ルモノ				
天主教												22
朝鮮長老會	—											101
美理監理會					—							101
南監理會												99
聖公會												99
第七日安息日												101
耶穌再臨教												101
東洋宣教會												101
救世軍												101
日本基督教會												101
日本メソヂスト												101
朝鮮教會												101
基督聯合會												101
監理及長老聯合												101
總計	4	2	3	6	2	3	2	120	2	10	56	56



(二) 道別學校・幼稚園・講習所及書堂數

昭和五年十二月末現在

總計	講習所・書堂	幼稚園	初等程度		中等程度		專門程度		區分
			私立 依ルモノ	普通 依ルモノ	私立 依ルモノ	實業 依ルモノ	女子 依ルモノ	高等 依ルモノ	
三四	五	二	二	一	六	一	三	二	京畿
八	三	三	二						忠北
一九	七	七	二	一	二				忠南
七	二	四	八		四				全北
三	一	六	二						全南
六	一	四	六		二				慶北
一九	五	八	五		一				慶南
六	五	一〇	三	四	一				黄海
一〇八	一七	一四	六七	四	三	一	一	一	平南
四九	八	一一	二六	一	三				平北
五三	二六	一九	五						江原
二六	六	一〇	三	四	一		二		咸南
三	二	六	四						咸北
五六	二四	二六	一〇	元	三	二	六	三	計

(三) 學校・幼稚園・講習所・書堂教師及生徒數 昭和五年十二月末現在

教派名	學校數	教師數		生徒數		一箇年經費			
		內地人	朝鮮人	外國人	計		男	女	計
天主教	二元	二	三三	九	一四三	三、一五三	一、九四八	五、一〇一	二、六〇〇
朝鮮耶蘇教長老會	三〇	七	八四	六	一、〇〇〇	一五、六五三	九、四四六	二五、〇九九	八、四〇一
美監理教會	一〇	六	四三	四	四七	六、七三三	五、一三六	一一、八六九	三、五〇三
南監理教會	九	三	二五	三	二九	三、三九九	三、九〇九	七、一五六	三、六、四九
聖公會	一元	一	七	一	七	一、五八三	三、五	六八	一〇、四六三
第七日安息日會	一四	三	元	五	四	一、三三	三、六	八七	四、五九六
耶蘇再臨教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東洋宣教會	一	一	一	一	一	一	一	一	一
救世軍	六	一	八	三	一〇	一、〇	三	一三	一、一三
日本基督教會	三	八	一	三	一〇	一三	一六	二九	三、七四四
日本メソヂスト教會	三	四	一	三	四	四	二九	七	一、八三四
朝鮮會衆基督教會	二	一	一	一	三	五	七	一二	一、八〇〇
監理及長老聯合	九	三	八	三	一六	一、二四六	三、八	一、五五	四、七〇六
總計	五六	二四	一、八四九	一八二	二、一五四	三、二九六	三、三三三	五、九四九	二、三三、〇八

(四) 諸學校

昭和五年十二月末現在

教派名		學校名		所在地		創立年月		教師數		生徒數		一箇年經費	
專 門 學 校													
朝鮮耶穌教長老會		崇實專門學校		平壤府新陽里		大正十四年六月		二七		八二		七七,000 <sup>円</sup>	
美監理教會		梨花女子專門學校		京城府貞洞		大正十四年四月		三三		二七		六九,三九	
監理及長老聯合		延禧專門學校		京畿道高陽郡延禧面		大正六年四月		三三		二七		六九,三九	
同		セブランス聯合醫學專門學校		京城府南大門通五丁目		大正十一年五月		元		一四		一四,五六八	
合計								一四		三三		六二,五七七	
高 等 普 通 學 校													
美監理教會		培材高等普通學校		京城府貞洞		大正五年四月		二七		七六		四四,000 <sup>円</sup>	
同		光成高等普通學校		平壤府景昌里		大正五年四月		三三		五〇		三〇,〇七七	
南監理教會		松都高等普通學校		開城府高麗町		大正六年四月		二二		三三		三三,〇七九	
合計								八二		一三六		一〇八,一五七	

女子高等普通學校

朝鮮耶蘇教長老會	永生女子高等普通學校	咸興府新昌里	昭和四年十月	一三	二四一	二六、四〇〇
美監理教會	梨花女子高等普通學校	京城府貞洞	大正七年十一月	一三	二四一	二八、四〇〇
同	正義女子高等普通學校	平壤府水玉里	大正九年五月	二〇	二九〇	六、〇〇〇
南監理教會	好禮敦女子高等普通學校	開城府滿月町	大正七年四月	一六	三二八	四〇、七〇〇
同	培花女子高等普通學校	京城府彌雲洞	大正十四年四月	一六	三四四	三〇、二七七
同	樓氏女子高等普通學校	元山府山祭洞	大正十四年七月	二二	一六六	二七、五四六
合計				一〇一	一、三三四	一五、〇〇〇
天主教	海星普通學校	元山府銘石洞	大正十一年四月	一五	六〇六	一三、九四三
同	啓星普通學校	京城府明治町	大正十三年四月	一三	五四八	七、五九四
同	加明普通學校	京城府中林洞	大正十四年四月	一三	五五九	八、〇六五
同	仁川博文普通學校	仁川府寺町	大正十四年十一月	一三	六六一	一一、一〇三
同	敬愛普通學校	黃海道長淵郡長淵面	大正十四年十二月	六	二九三	五、五〇〇
同	聖母普通學校	平壤府館後里	昭和四年三月	一〇	三八五	八、五〇〇

普通學校

計	朝鮮耶蘇教長老會	明新普通學校	黃海道戰寧郡戰寧面	大正十四年五月	六九	三,一七三	五,四七五
同	永信普通學校	咸興府東陽里	大正十三年三月	六	三三	六,一三三	
同	德盛普通學校	黃海道鳳山郡沙里院面	昭和三年四月	六	三三	六,七三〇	
美監理教會	梨花女子普通學校	京城府貞洞	大正七年十一月	三	三五八	六,四三〇	
同	仁川永化女子普通學校	仁川府牛角里	大正十二年九月	一五	一,〇〇五	一,〇二五	
同	攻玉普通學校	京城府南米倉町	大正十三年十一月	三	一三〇	三,五〇〇	
同	鑑貞女子普通學校	黃海道海州郡海州面	大正十四年五月	七	三一九	六,〇〇〇	
同	阿靦女子普通學校	京城道高陽郡龍江面	大正十四年七月	九	四四九	一〇,一〇〇	
同	東大門女子普通學校	京城府鍾路六丁目	大正十五年一月	七	二四〇	六,七〇〇	
同	三一女子普通學校	京城道水原郡水原面	大正十五年六月	七	二四〇	五,七五〇	
同	仁川永化普通學校	仁川府內里	大正十五年十月	七	一四九	五,八〇〇	
同	光成普通學校	平壤府大察里	昭和二年三月	六	三七三	三,五六八	
同	正進女子普通學校	平壤府南山町	昭和二年五月	三	八六	三,八〇〇	
同	公州永明女子普通學校	忠清南道公州郡公州面	昭和二年六月	二	四七〇	八,二二六	
同	崇德女子普通學校	平安北道寧邊郡寧邊面	昭和四年六月	六	九三	五,六〇〇	
同	三崇普通學校	嶺南浦府龍井里	昭和五年五月	三	九三	三,六〇〇	
計					八五	三,八四三	八,六六一

(五) 病院

美 監 理 教 會 計	平 壤 盲 啞 學 校	平 壤 府 水 玉 里	明 治 四 十 二 年 八 月	三	三	三、五〇〇
總 合 計	四			三	三	三、五〇〇
南 監 理 教 會	第 一 松 都 普 通 學 校	開 城 府 高 麗 町	大 正 六 年 四 月	八	三	六、一六〇
同	好 壽 教 女 子 普 通 學 校	同 滿 月 町	大 正 七 年 四 月	一	三	一、一〇〇
同	第 二 松 都 普 通 學 校	同 宮 町	大 正 十 一 年 九 月	八	六	六、〇〇〇
同	培 花 女 子 普 通 學 校	京 城 府 樓 下 洞	大 正 十 四 年 五 月	一	五	一〇、〇〇〇
同	光 明 普 通 學 校	元 山 府 廣 石 洞	大 正 十 四 年 六 月	六	三	七、二二五
同	樓 氏 女 子 普 通 學 校	元 山 府 山 祭 洞	大 正 十 四 年 七 月	七	〇	七、四四五
監 理 及 長 老 聯 合 計	協 成 普 通 學 校	京 城 府 需 昌 洞	大 正 七 年 十 月	二	二	四、四八八
合 計	二			二	二	九、八〇〇
合 計	二			二	二	九、八〇〇
				二	二	三〇、九〇〇

天主教	修士院治療所	咸鏡南道德源郡府内面	一箇年取扱患者數		一箇年經費	
			入院	外來		
計			有料 無料	有料 無料	計	
朝鮮耶穌教長老會	耶穌教病院	全羅北道全州郡全州面	一	七、三〇〇	七、三〇〇	四、五〇〇
	耶穌教病院	全羅北道沃溝郡開井面	三三	七、三〇〇	七、三〇〇	五、五〇〇
	耶穌教病院	全羅北道沃溝郡開井面	三〇	二、七六	六、三三	二、七〇〇
	富蘭翠病院	木浦府南橋洞	二六五	四、四〇〇	八、三〇〇	四、八〇〇
	ヅ井ドナルフ癩病院	全羅南道麗水郡栗村面	一五、二四	—	一五、二四	一五、五〇〇
	光州濟衆院	全羅南道光州郡光州面	三、三〇	四、六四	八、六四	一、七〇〇
	安力山病院	全羅南道順天郡順天面	五、六五	一、九七	一、九七	二、七〇〇
	東山病院	大邱府南山町	五	三、一六九	三、一六九	三、一六九
	大邱癩病院	慶尙北道遂城郡達城面	—	—	—	四、二〇〇
	聖蘇病院	慶尙北道安東郡安東面	八	—	—	四、二〇〇
	釜山癩病院	慶尙南道東萊郡西面	—	—	—	四、二〇〇
	培敦病院	慶尙南道晉州郡晉州面	五三	四、三三	四、三三	五、〇〇〇
	濟衆病院	黃海道鐵峯郡鐵峯面	二五七	一〇、三三	一〇、三三	一六、〇〇〇
	美東病院	平安北道宣川郡宣川面	一〇	六、三三	六、三三	一七、〇〇〇
	桂禮智病院	平安北道江界郡江界面	一五	一、六四	一、六四	一〇、〇〇〇
	濟惠病院	咸興府	一五	六、九三	六、九三	二五、一〇〇
			一五	五七	八、一〇	二五、一〇〇

朝鮮耶蘇教長老會	濟東病院	咸鏡北道城津郡城津面	五,八〇〇	五〇五	七,八〇〇	二,五七九	一六,七五九	三,八〇〇
美 監 理 教 會	海州救世病院	黃海道海州郡海州面	二九,九〇〇	六,〇〇〇	六,八一九	三,六六六	七三,九〇〇	四三,七〇〇
同	肺結核救世療養院	黃海道海州郡沐東面	二,一〇〇	五三	四,〇〇〇	一〇〇	九,一四〇	一四,四七〇
同	瑞美監病院	江原道原州郡原州面	四,九〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	—	六,〇〇〇	八,〇〇〇
公 計	聖安羅病院	京畿道驪州郡州內面	七,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	三〇〇	一六,八〇〇	一七,七〇〇
同	愛人病院	忠清北道鎮川郡鎮川面	六	一〇七	五,九一九	四〇〇	九,四七六	一〇,六七六
計	南星病院	開城府滿月町	一,四〇〇	二,〇七五	九,九一九	一〇,四四四	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇
同	救世病院	元山府山祭洞	三〇〇	一六	一,〇三三	五七九	二,一九九	三,五七〇
計	第七日安息日耶蘇再臨教	順安病院	二,六五五	二,八八八	四,四三三	一,九四五	一〇,八八八	一四,一三三
監 理 聯 合	東大門婦人病院	平安南道平原郡順安面	一〇〇	三	五,七〇〇	〇〇五	六,三三六	三,三〇〇
計	世富爾德病院	京城府鍾路六丁目	一五〇	三	五,七〇〇	〇〇五	六,三三六	三,三〇〇
監 理 及 長 老 聯 合	平壤聯合基督病院	京城府南大門通五丁目	一,一三五	九七	一,〇〇〇	〇〇	二,二二六	三,〇〇〇
計	美 監 理 及 長 老 聯 合	平壤聯合基督病院	二,一〇〇	一八七三	一三,九一〇	六,四五六	二〇,五五〇	二〇,〇〇〇
美 監 理 及 長 老 聯 合	平壤聯合基督病院	平壤府大察里	七,五五九	四七三	四三,四四五	七,八〇〇	六二,一三三	四〇,四〇〇



總計	一	七、五五九	四、七五三	四、四四五	七、八三四	六、三六一	七、四〇八
計	二	七、〇四五	六、四一三	二、九七三	八、一六三	九、七四一	一、〇九七

(六) 其ノ他主ナル社會事業

昭和五年十二月末現在

教派名	名稱	所在地	事業目的	一箇年收容 又ハ取扱人員	一箇年經費
天主教	天主教孤兒院	京城府明治町二丁目	孤兒救育	一七〇人	一五、二四七円
同	仁川天主教孤兒院	仁川府 寺町	同	五〇	九、八八三
同	天主教修女院	大邱府 南山町	同	五四	五、六二〇
聖公會	聖彼得孤兒院	京畿道水原郡水原面	同	三〇	二、八〇〇
朝鮮耶穌教長老會	大同孤兒院	平安北道宣川郡宣川面	同	一七	一、七四七
同	東山病院嬰兒部	大邱府 南山町	嬰兒保育	二五〇	二、五七三
美監理教會	中央育兒院	忠清南道公州郡公州面	同	一、八〇〇	二、五〇〇
救世軍	救世軍育兒ホーム	京畿道高陽郡延禧面	孤兒救育	一一八	一一、三七三
同	救世軍女兒ホーム	京城府竹添町三丁目	女兒救育	一九	三、八八〇
同	救世軍婦人ホーム	京城府天然洞	婦人救濟	一七	一、八四〇

享

祀

(一) 殿ノ名稱及所在地

崇烈殿 (百濟始祖溫祚王)

京畿道廣州郡中部面

崇義殿 (高麗太祖・顯宗・文宗・元宗)

京畿道漣川郡峭山面

崇德殿 (新羅始祖朴赫居世王)

慶尙北道慶州郡內南面

崇信殿 (新羅昔脫解王)

慶尙北道慶州郡慶州面

崇惠殿 (新羅金味鄒王・文武王・敬順王)

同

崇善殿 (駕洛國始祖金首露王)

慶尙南道金海郡金海面

崇仁殿 (箕子)

平安南道平壤府下水口里

崇靈殿 (高句麗始祖東明王)

平安南道平壤府將別里

(二) 陵ノ名稱及所在地

麗顯陵 (高麗太祖)

京畿道開豐郡中西面

朴赫居世王陵

慶尙北道慶州郡內南面

昔脫解王陵

慶尙北道慶州郡川北面

金味郡王陵  
箕子陵  
東明王陵

慶尙北道慶州郡慶州面  
平安南道平壤府箕林里  
平安南道中和郡東頭面

七八

(三) 歷代殿陵參奉及守護人數 昭和五年十二月末現在

道名	殿	奠幣供饌ノ陵	上記以外ノ王陵	參奉	守護	人
京畿道	二	一	五七	三		五〇
慶尙北道	三	三	三三	六		三〇
慶尙南道	一	一	二	一		二
平安南道	二	二	一	四		三
總計	八	六	九三	一四		八五

(四) 祠院ノ名稱及所在地

牛渚書院 (文烈公趙 憲)  
 深谷書院 (文正公趙光祖)  
 龍淵書院 (文翼公李德馨)  
 坡山書院 (文簡公成 渾)  
 四忠書院 (忠獻公金昌集)  
 鷺江書院 (文烈公朴泰輔)  
 江漢祠 (文正公宋時烈)  
 德峯書院 (忠貞公吳斗寅)  
 忠烈祠 (文忠公金尙容)  
 顯節祠 (文正公金尙憲)  
 紀功祠 (莊烈公權 慄)  
 忠烈祠 (忠愍公林慶業)  
 表忠祠 (忠愍公李鳳祥)  
 遯巖書院 (文元公金長生)  
 魯岡書院 (文正公尹 煌)

京畿道金浦郡郡內面  
 京畿道龍仁郡水枝面  
 京畿道抱川郡新北面  
 京畿道坡州郡坡平面  
 京畿道始興郡北面  
 同  
 京畿道驪州郡州內面  
 京畿道安城郡陽城面  
 京畿道江華郡仙源面  
 京畿道廣州郡中部面  
 京畿道高陽郡知道面  
 忠清北道忠州郡忠州面  
 忠清北道清州郡清州面  
 忠清南道論山郡連山面  
 忠清南道論山郡光石面

彰烈祠 (文貞公尹集)

武城書院 (文昌侯崔致遠)

筆巖書院 (文正公金麟厚)

褒忠祠 (忠烈公高敬命)

西岳書院 (弘儒侯薛聰)

玉山書院 (文元公李彥迪)

紹修書院 (文成公安裕)

金鳥書院 (忠正公吉再)

道東書院 (文敬公金宏弼)

陶山書院 (文純公李浣)

屏山書院 (文忠公柳成龍)

興巖書院 (文正公宋浚吉)

玉洞書院 (翼成公黃喜)

濫溪書院 (文獻公鄭汝昌)

忠烈祠 (忠烈公宋象賢)

忠清南道扶餘郡九龍面

全羅北道井邑郡七寶面

全羅南道長城郡黃龍面

全羅南道光州郡大村面

慶尙北道慶州郡慶州面

慶尙北道慶州郡江西面

慶尙北道榮州郡順興面

慶尙北道善山郡善山面

慶尙北道遂城郡求智面

慶尙北道安東郡陶山面

慶尙北道安東郡豐南面

慶尙北道尙州郡內西面

慶尙北道尙州郡牟東面

慶尙南道咸陽郡水東面

慶尙南道東萊郡東萊面

彰烈祠	(文烈公金千鎔)	慶尙南道晉州郡晉州面
忠烈祠	(忠武公李舜臣)	慶尙南道統營郡統營面
褒忠祠	(忠剛公李述原)	慶尙南道居昌郡熊陽面
清聖廟	(清惠侯伯 夷)	黃海道海州郡海州面
太師祠	(壯節公申崇謙)	黃海道平山郡平山面
文會書院	(文成公李 珉)	黃海道延白郡銀川面
鳳陽書院	(文純公朴世采)	黃海道殷栗郡長連面
忠愍祠	(忠莊公南以興)	平安南道安州郡安州面
表節祠	(忠烈公鄭 蕃)	平安北道定州郡馬山面
彰節書院	(忠正公朴彭年)	江原道寧越郡寧越面
忠烈書院	(忠烈公洪命耆)	江原道金化郡金化面
褒忠祠	(忠武公金應河)	江原道鐵原郡鐵原面
老德書院	(文忠公李恒福)	咸鏡南道北青郡北青面

備考

本書院ニ享祀ノ先賢ハ主享ノ一名ヲ表示シ他ハ之ヲ省略ス

# 附 錄



# 寺刹令

明治四十四年六月  
制令第七號

改正

昭和四年六月  
制令第九號

第一條 寺刹ヲ併合、移轉又ハ廢止セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ其ノ基址又ハ名稱ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二條 寺刹ノ基址及伽藍ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ傳法、布教、法要執行及僧尼止住ノ目的以外ニ之ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス

第三條 寺刹ノ本末關係、僧規、法式其ノ他必要ナル寺法ハ各本寺ニ於テ之ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 寺刹ニハ住持ヲ置クコトヲ要ス

住持ハ其ノ寺刹ニ屬スル一切ノ財産ヲ管理シ寺務及法要執行ノ責ニ任シ寺刹ヲ代表ス

第五條 寺刹財産ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓渡シ、擔保ニ供シ其ノ他處分スルコトヲ得ス寺刹カ負債ヲ爲スニ付亦同シ

前項ノ許可ヲ受ケスシテ寺刹財産ヲ讓渡シ、擔保ニ供シ其ノ他處分シ又ハ負債ヲ爲シタルトキハ之ヲ無効トス

寺刹財産トハ寺刹ニ屬スル不動産其ノ他朝鮮總督ノ定ムル財産ヲ謂フ

第六條 寺刹財産ヲ處分スル場合ニ於テハ其ノ寺刹ノ住持ハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

但シ特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 本令ニ規定スルモノノ外寺刹ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

#### 附 則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

#### 附 則 (昭和四年六月制令第九號)

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ存スル寺刹ノ負債ハ第五條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ負債ハ其ノ額用途方法利率及償還ノ方法ヲ具シ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ之ヲ

朝鮮總督ニ届出ツヘシ

#### 寺刹令施行期日

明治四十四年七月  
總令第八十三號

寺刹令ハ明治四十四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和四年六月)  
總令第五十一號

昭和四年制令第九號寺刹令中改正ノ件ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

# 寺刹令施行規則

明治四十四年七月  
總令第八十四號

改正

大正十三年十一月  
總令第六十九號

昭和四年六月  
總令第五十二號

第一條 住持ヲ定ムル方法住持ノ交替手續及其ノ任期中死亡其ノ他ノ事故ニ因リ缺員ヲ生シタル場合ニ於ケル寺務取扱方法ハ寺法中ニ之ヲ規定スヘシ

第二條 左ニ掲クル寺刹ノ住持ノ就職ニ付テハ朝鮮總督ニ申請シ認可ヲ受クヘシ

京畿道	廣州郡	奉恩寺
同	水原郡	龍珠寺
同	楊州郡	奉先寺
同	江華郡	傳燈寺
忠清北道	報恩郡	法住寺
同	公州郡	麻谷寺
全羅北道	全州郡	威鳳寺
同	錦山郡	寶石寺
同	海南郡	大興寺
同	長城郡	白羊寺

同	平安南道	同	黃海道	同	同	同	同	同	同	同	慶尙北道	同	同	全羅南道
〔順安郡〕	平壤府	黃州郡	信川郡	〔釜山府〕	梁山郡	陝川郡	〔長鬐郡〕	開慶郡	義城郡	永川郡	〔大邱府〕	求禮郡	同	順天郡
法興寺	永明寺	成佛寺	貝葉寺	梵魚寺	通度寺	海印寺	祇林寺	金龍寺	孤雲寺	銀海寺	桐華寺	華嚴寺	仙巖寺	松廣寺

同 北海道 寧邊郡 普賢寺

江原道 [杆城郡] 乾鳳寺

同 高城郡 楡帖寺

同 平昌郡 月精寺

咸鏡南道 安邊郡 釋王寺

同 咸興郡 歸州寺

前項以外ノ寺刹ノ住持ノ就職ニ付テハ地方長官ニ申請シ認可ヲ受クヘシ

第三條 前條認可ノ申請書ニハ住持タルヘキ者ノ身分年齢及修行履歷書ヲ添附スヘシ

第四條 住持ノ任期ハ三年トス但シ任期滿了ノ後再任スルコトヲ妨ケス

第五條 住持犯罪其ノ他不正ノ行爲アリタルトキ又ハ職務ヲ怠リタルトキハ其ノ就職

ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第六條 前條ニ依リ認可ヲ取消サレタル者ハ寺法ノ定ムル所ニ依リ一切ノ事務ヲ引續

キ一週間以内ニ其ノ寺刹ヲ退去スヘシ

第七條 寺刹ニ屬スル佛像、石物、古文書、古書畫、梵鐘經卷其ノ他ノ動産ニシテ左ノ各號ノ

一ニ該當スルモノヲ寺刹財産トス

一 當該寺刹ニ由緒アルモノ

二 學術、技藝又ハ考古ノ資料ト爲ルヘキモノ

三 朝鮮總督ニ於テ特ニ指定シタルモノ

第八條 住持ハ別記様式ニ依リ財産臺帳ヲ調製シ寺刹財産ニ關スル事項ヲ登載スヘシ  
 前條ノ寺刹財産ニ付テハ其ノ容器又ハ適當ナル個所ニ寺刹ノ印章、記號其ノ他寺刹財  
 産ニ屬スルモノナルコトヲ示スヘキ票札ヲ施シ且番號票ヲ附シ財産臺帳ニ其ノ番號  
 ヲ記入スヘシ

第九條 住持ハ財産臺帳ノ様式ニ準シ寺刹財産目錄書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ届出ツ  
 ヘシ

寺刹財産ニ増減異動アリタルトキハ五日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十條 朝鮮總督前條ノ届出ヲ受理シタルトキハ寺刹財産ノ品目、種類、箇數其ノ他必要  
 アリト認ムル事項ヲ公告ス但シ不動産ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 寺刹カ負債ヲ爲サムトスルトキハ住持ハ負債ノ金額、用途、方法、利率及償還方  
 法ヲ定メ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ負債ノ金額、用途、方法、利率及償還方法ヲ變更セム  
 トスルトキ亦同シ但シ負債額ノ減少、利率ノ低減、償還年限ノ短縮若ハ繰上償還ヲ爲シ

又ハ既定ノ償還年限ヲ延長セスシテ低利ノ借替ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス  
前項但書ノ場合ニ於テハ住持ハ十日以内ニ朝鮮總督ニ其ノ旨届出ツヘシ

第十二條 住持ハ寺刹ノ毎會計年度收入支出豫算ヲ定メ年度開始ノ一月前迄ニ第二條  
第一項ノ寺刹ニ在リテハ朝鮮總督ニ、其ノ他ノ寺刹ニ在リテハ道知事ニ報告スヘシ

豫算ノ追加更正ヲ爲シタルトキハ其ノ都度報告スヘシ

寺刹ノ豫算中經理不適當ト認ムルモノアルトキハ第二條第一項ノ寺刹ニ在リテハ朝  
鮮總督、其ノ他ノ寺刹ニ在リテハ道知事之カ變更ヲ命スルコトヲ得

第十三條 寺刹ノ會計年度ハ毎年一月一日ヨリ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第十四條 住持ハ寺刹ノ毎會計年度收入支出決算書ヲ調製シ年度終了後二月内迄ニ第  
二條第一項ノ寺刹ニ在リテハ朝鮮總督ニ、其ノ他ノ寺刹ニ在リテハ道知事ニ報告スヘ  
シ

第十五條 住持ハ帳簿ヲ備ヘ寺刹ノ收入支出ヲ記入スヘシ

第十六條 第六條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘留又  
ハ科料ニ處ス

## 附則

本令ハ寺刹令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

各本寺ニ於テハ本令施行後五月以内ニ寺法ノ認可ヲ申請スヘシ

本令施行ノ際住持ナキ寺刹ハ慣例ニ從ヒ本令施行後三月以内ニ之ヲ定メ其ノ認可ヲ申請スヘシ

附 則 (昭和四年六月總令第五十二號)

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

住持ハ本令施行ノ際現ニ存スル寺刹財産ニ付本令施行ノ日ヨリ四十日以内ニ第八條及第九條ノ手續ヲ爲スヘシ

別表

何々寺財產臺帳



所在地	地番地目地	積地	價	摘	何々寺財産臺帳	所在地	地番地目地	積地	價	摘

建物ノ名稱	構造	坪	所在地	摘	何々寺財産臺帳	建物ノ名稱	構造	坪	所在地	摘

貴重品

番號	名稱	員數	品質	形	狀	寸	法	作者及傳來	摘	貴重品
										貴重品

# 神社寺院規則

大正四年八月  
總令第八十二號

第一條 神社ヲ創立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ創立地ニ於テ崇敬者ト爲ルヘキ者三十人以上連署シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

一 創立ノ事由

二 神社ノ稱號

三 創立地名

四 祭神

五 建物並境内地ノ坪數、圖面及境内地周圍ノ狀況

六 創立費及其ノ支辨方法

七 維持ノ方法

八 崇敬者ノ數

第二條 寺院ヲ創立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ創立地ニ於テ檀信徒ト爲ルヘキ者三十人以上連署シ所屬宗派管長ノ承認書ヲ添ヘ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

一 創立ノ事由

二 寺院ノ稱號

三 創立地名

四 本尊並所屬宗派ノ名稱

五 建物並境内地ノ坪數、圖面及境内地周圍ノ狀況

六 創立費及其ノ支辨方法

七 維持ノ方法

八 檀信徒ノ數

第三條 神社ニハ神殿及拜殿ヲ備フヘシ

第四條 寺院ニハ本堂及庫裏ヲ備フヘシ

第五條 神社又ハ寺院創立ノ許可ヲ受ケタル者許可ノ日ヨリ二年内ニ神殿、拜殿又ハ本堂、庫裏ヲ建設セサルトキハ許可ハ其ノ効力ヲ失フ但シ特別ノ事由アルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

建設ヲ竣リタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第六條 變災ニ依リ神殿、拜殿又ハ本堂、庫裏ヲ亡失シタルトキ又ハ亡失シタル神殿、拜殿若ハ本堂、庫裏ヲ再建シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

神殿、拜殿又ハ本堂、庫裏ヲ亡失ノ日ヨリ六年内ニ再建セサルトキハ創立許可ハ其ノ効力ヲ失フ

第七條 神社又ハ寺院ヲ移轉セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ク

ヘシ

一 移轉ノ事由

二 移轉先地名

三 建物並境内地ノ坪數、圖面及境内地周圍ノ狀況

四 移轉費及其ノ支辨方法

第八條 第五條ノ規定ハ神社又ハ寺院移轉ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 神社又ハ寺院ヲ廢止又ハ合併セムトスルトキハ其ノ事由及財産ノ處分方法ヲ

具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 左ニ掲クル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

一 神社ノ稱號ヲ變更シ又ハ祭神ヲ増減變更セムトスルトキ

二 寺院ノ稱號ヲ變更シ又ハ本尊ヲ増減變更セムトスルトキ

三 寺院ノ所屬宗派ヲ變更セムトスルトキ

四 神社又ハ寺院ノ維持ノ方法ヲ變更セムトスルトキ

五 建物又ハ境内地ノ坪數ヲ増減セムトスルトキ

前項第五號ノ場合ニ於テハ其ノ圖面ヲ申請書ニ添附スヘシ

第十一條 寺院ニハ住職ヲ置キ寺院ニ關スル事務ヲ管理セシムヘシ

住職ヲ命セラレタルトキハ本人、死亡其ノ他ノ爲住職ニ異動アリタルトキハ檀信徒總

代ヨリ之ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十二條 神社ニハ崇敬者總代、寺院ニハ檀信徒總代各三人以上ヲ置キ其ノ住所氏名ヲ

其ノ神社寺院所在地ヲ管轄スル〔道長官〕ニ届出ツヘシ其ノ異動アリタルトキ亦同シ

〔道長官〕ハ前項ノ總代ヲ不適任ト認ムルトキハ變更セシムルコトヲ得

總代ハ神社又ハ寺院ノ維持保存ニ關シ神職又ハ住職ヲ補助シ神社又ハ寺院ニ關スル願届ニ連署スヘシ

第十三條 神社又ハ寺院ハ其ノ所有ニ屬スル不動産及寶物ニ關シ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ其ノ異動アリタルトキ亦同シ

一 土地ニ在リテハ所在地、番號、地目、面積及境內地、境外地ノ區別

二 建物ニ在リテハ所在地、建坪、名稱、構造ノ種類及境內地ニ在ルモノト境外地ニ在ルモノトノ區別

三 寶物ニ在リテハ其ノ名稱、員數、品質、形狀、寸尺、作者及傳來

第十四條 神社又ハ寺院ハ財產臺帳ヲ備ヘ其ノ所有ニ屬スル不動産及寶物ニ關シ前條各號ノ事項ヲ登載スヘシ

第十五條 左ニ掲クル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

一 不動産又ハ寶物ヲ賣却、讓與、交換、質入若ハ抵當ト爲サムトスルトキ

二 境內地ノ立竹木ヲ伐採セムトスルトキ

三 負債ヲ爲サムトスルトキ

第十六條 境内地及其ノ建物ハ〔道長官〕ノ許可ヲ受クルニ非サレハ神社ニ在リテハ祭典儀式ノ執行、寺院ニ在リテハ傳法、布教、法要執行及僧尼止住ノ目的以外ニ濫ニ之ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス

第十七條 第五條第一項但書、第七條、第九條、第十條又ハ第十五條ニ依リ寺院ヨリ提出スル願書ニハ其ノ所屬宗派管長ノ意見書ヲ添附スヘシ

第十八條 本令ニ依ル届出ハ其ノ事故ノ生シタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スヘシ

第十九條 本令中寺院ニ關スル規定ハ内地ニ於ケル佛道各宗派ニ屬スルモノニ限り之ヲ適用ス

第二十條 許可ヲ受ケスシテ神社寺院又ハ之ニ類似ノ建造物ヲ設ケタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

#### 附 則

本令ハ大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存在スル神社又ハ寺院ハ本令施行ノ日ヨリ五月内ニ第一條又ハ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ

## 布教規則

大正四年八月  
總令第八十三號

改正

大正九年四月  
總令第五十九號

第一條 本令ニ於テ宗教ト稱スルハ神道、佛道及基督教ヲ謂フ

第二條 宗教ノ宣布ニ從事セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ布教者タル資格ヲ證明スヘキ文書及履歷書ヲ添ヘ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

一 宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱

二 布教ノ方法

前項各號ノ事項ヲ變更シタルトキハ十日内ニ朝鮮總督ニ届出ツヘシ氏名ヲ變更シ住所ヲ移轉シ又ハ布教ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第三條 神道各教派又ハ内地ノ佛道各宗派ニ於テ布教ヲ爲サムトスルトキハ其ノ教派

又ハ宗派ノ管長ハ布教管理者ヲ定メ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一 宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱

二 教規又ハ宗制

三 布教ノ方法

四 布教管理者ノ權限



五 布教者監督ノ方法

六 布教管理事務所ノ位置

七 布教管理者ノ氏名及其ノ履歷書

前項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 朝鮮總督ハ布教ノ方法、布教管理者ノ權限及布教者監督ノ方法又ハ布教管理者ヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 布教管理者ハ朝鮮ニ居住スル者タルコトヲ要ス

第六條 朝鮮總督ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第三條以外ノ教派又ハ宗派ニ對シ布教管理者ヲ置カシムルコトアルヘシ

前項ニ依リ布教管理者ヲ置キタルトキハ十日内ニ第三條第一項各號ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條 前條ノ布教管理者ニ付テハ第四條及第五條ノ規定ヲ準用ス

第三條以外ノ教派又ハ宗派ニ於テ其ノ規約等ニ依リ布教管理者ヲ置キタルトキハ第四條、第五條及前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第八條 削除

第九條 宗教ノ用ニ供スル爲教會堂、說教所又ハ講義所ノ類ヲ設立シタル者ハ直ニ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

一 名稱及所在地

二 宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱

三 布教擔任者ノ資格及其ノ選定方法

四 設立費及其ノ支辨方法

五 管理及維持方法

前項各號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ直ニ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十條 前條第一項第三號ニ依リ布教擔任者ヲ選定シタルトキハ設立者又ハ布教管理者ヨリ其ノ氏名及住所ヲ具シ十日内ニ朝鮮總督ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十一條 宗教ノ用ニ供スル教會堂、說教所又ハ講義所ノ類ヲ廢止シタルトキハ十日内ニ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十二條 朝鮮總督ハ現ニ宗教ノ用ニ供スル教會堂、說教所又ハ講義所ノ類ニ於テ安寧秩序ヲ紊スノ虞アル所爲アリト認ムルトキハ其ノ設立者又ハ管理者ニ對シ之カ使用

ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

第十三條 布教管理者ヲ置キタル教派宗派ニ屬スル者又ハ朝鮮ノ寺刹ニ屬スル者本令ニ依リ届出ヲ爲サムトスルトキハ布教管理者又ハ本寺住持ノ副書ヲ添附スヘシ

第十四條 朝鮮總督ハ布教管理者布教擔任者又ハ朝鮮寺刹住持ニ對シ必要ト認ムル報告ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條 朝鮮總督ハ必要アル場合ニ於テハ宗教類似ノ團體ト認ムルモノニ本令ヲ準用スルコトアルヘシ

前項ニ依リ本令ヲ準用スヘキ團體ハ之ヲ告示ス

#### 附 則

第十六條 本令ハ大正四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條 明治三十九年統監府令第四十五號ハ之ヲ廢止ス

第十八條 明治三十九年統監府令第四十五號第一條第二條及第三條ニ依リ認可ヲ受ケタル者ハ本令第二條ノ届出ヲ爲シ又ハ第三條ノ認可若ハ第九條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス但シ本令第二條ニ該當スル者ニ在リテハ同條第一項第二號ノ事項、本令第三條ニ該當スル者ニ在リテハ同條第一項第二號第四號ノ事項、本令第九條ノ該當スル者

ニ在リテハ同條第一項第三號第五號ノ事項竝布教擔任者ノ氏名及履歷ヲ具シ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第十九條 本令施行ノ際現ニ宗教ノ宣布ニ從事シ、布教管理者ヲ置キ又ハ宗教ノ用ニ供スル教會堂、説教所、講義所ノ類ヲ管理スル者ニシテ前條ニ該當セサルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ第二條第三條又ハ第九條ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ届出ツヘシ  
前項ニ依リ第九條ノ事項ヲ届出テタル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

### 布教規則ニ依ル布教届等ノ様式

大正九年四月  
總務部第二號

#### 第一號様式ノ一

#### 布 教 届

今般宗教ノ宣布ニ從事致候間別紙資格證明書竝履歷書相添ヘ左記事項ヲ具シ此段及御届候也

年 月 日

住 所

氏

名

朝鮮總督爵氏名 殿

年 月 日 生

記

一、宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱

二、布教ノ方法

(布教所ニ於ケル布教、巡回布教、家庭傳道、通信布教等其ノ方法ヲ詳記シ猶所屬教宗派ニ於ケル本人ノ職名ヲモ記載スヘシ)

備考

本屆書ハ其ノ職名ノ何タルヲ問ハス所屬教宗派ノ制規ニ依リ布教者タル資格ヲ備ヘ事實上當時布教ニ從事セムトスル者ハ凡テ之ヲ提出スヘシ

布教管理者又ハ本寺住持ノ副書ハ届出人ノ次ニ記載スヘシ

第一號様式ノ二

履 歷 書

原 籍

現住所

一、學業

二、教派又ハ官衙ニ於ケル任免事項

三、賞罰

右之通相違無之候也

年 月 日

氏 名 印

氏 名 年 月 日 生

第二號樣式

布教願

今般布教ニ從事致度候間御認可相成度布教規則第 條ニ依リ此段申請候也

年 月 日

住所

何教宗派管長

氏 名

朝鮮總督爵氏名 殿

記

- 一、宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱
- 二、教規(又ハ宗制)  
(別冊ヲ以テ提出スルモ妨ケス)
- 三、布教ノ方法  
(第一號様式ニ同シ)
- 四、布教管理者ノ權限
- 五、布教者監督ノ方法
- 六、布教管理事務所ノ位置
- 七、布教管理者ノ氏名  
(履歷書ハ第一號様式ニ依リ別紙ニ認ムルコト)

備考

本申請書ハ地方廳ヲ經由セス直接本府ニ提出スヘシ

第三號様式

布教管理者設置届

今般布教管理者ヲ設置致候ニ付布教規則第七條第二項ニ依リ左記事項ヲ具シ此段及御届候也

年 月 日

住所

氏

名

印

朝鮮總督爵氏名 殿

記

(第二號様式ニ同シ)

第四號様式

布教所設置届

今般教會堂(説教所又ハ講義所)ヲ設立致候間左記事項ヲ具シ及御届候也

年 月 日

住所

氏

名

印



(布教管理者、住持其ノ他布教上ノ身分アルモノハ之ヲ肩書スヘシ)

朝鮮總督爵氏名 殿

記

一、名稱

二、所在地

三、宗教及其ノ教派、宗派ノ名稱

四、布教擔任者ノ資格及其ノ選定方法

五、設立費及其ノ支辨方法

六、管理維持ノ方法

享祀釐正ニ關スル件

隆熙二年七月  
勅令第五十號(抄録)

第八條 歷代ノ廟、殿、陵、祠及地方ニ設置ノ社稷壇、文廟ハ總テ政府ノ所管トス

昭和七年二月十三日印刷  
昭和七年二月十六日發行

# 朝鮮總督府學務局宗教課

京城府觀水洞一三五番地

印刷所 大和商會印刷所

